



Correspondence  
Course

造形学部  
通信教育課程  
入学案内

2026

Musashino

Since  
**1951**

Art

University

**Correspondence Course**

- |      |                                                                          |
|------|--------------------------------------------------------------------------|
| 2023 | 通信教育課程が吉祥寺校から鷹の台キャンパスへ機能移転                                               |
| 2020 | カリキュラム改編(学2課程)3学科4コースに                                                   |
| 2019 | 市ヶ谷キャンパス開校                                                               |
| 2009 | 創立80周年記念式典挙行                                                             |
| 2002 | 造形学部通信教育課程開設(4学科9コース)                                                    |
| 1988 | 武蔵野美術短期大学を武蔵野美術大学短期大学部に改称<br>(グラフィックデザイン、プロダクトデザイン、ディスプレイデザイン、編集計画の4コース) |
| 1986 | デザイン科のコース編成を改編                                                           |
| 1979 | 初の冬期スクーリング開講                                                             |
| 1965 | 創立50周年記念式典挙行                                                             |
| 1964 | 武蔵野美術短期大学通信教育部に美術科設置                                                     |
| 1962 | 武蔵野美術短期大学通信教育部に美術科設置                                                     |
| 1961 | 武蔵野美術大学設置                                                                |
| 1959 | 鷹の台キャンパス開設<br>(商業デザイン、工芸工業デザイン、芸能デザインの3コース)                              |
| 1957 | 武蔵野美術短期大学設置                                                              |
| 1953 | 武蔵野美術短期大学に通信教育部デザイン美術科開設                                                 |
| 1951 | 武蔵野美術学校に「文部省認定西洋画実技講座」(1年課程の通信教育)を併設                                     |
| 1948 | 通信教育部機関誌「武蔵野美術」創刊                                                        |
| 1947 | 武蔵野美術学校西洋画科に通信教育部開設                                                      |
| 1947 | 武蔵野美術学校に校名変更                                                             |
| 1929 | 造型美術学園に校名変更                                                              |
| 1929 | 帝国美術学校創設(吉祥寺校舎開校)                                                        |

# つくる力が私を変える

創作活動をもっと充実させたい。

芸術文化に触れ、学ぶことで生活を豊かにしたい。

プロとしてのキャリアアップを目指したい――。

武蔵野美術大学の通信教育課程は、

あらゆる人に開かれた造形芸術の総合的な大学です。

ムサビの伝統と独自のカリキュラムによって培われる「つくる力」。

一日一日を、そして人生を変える大きな力です。

—— 武蔵<sup>ム</sup>美<sup>サ</sup>の通信教育<sup>ビ</sup>

# 美





## 教育理念

武蔵野美術大学の教育理念は、昭和4(1929)年10月30日、本学の前身である帝国美術学校の創立に由来するものです。

帝国美術学校の創立に寄与し、後にその経営と教育の中心となった金原省吾(開校時学監)の手記には「教養を有する美術家養成」と記されています。また、創立時の中心人物のひとり名取堯(開校時主事)の『武蔵野美術』(創立三〇周年記念特集)に寄せられた30年の回顧には、「人間が人間になる道は激しい鍛錬、たゆまざる精進の中にあって、放任の中にはない、その<sup>び</sup>框を固定させず、しかも、放縦に任せず、真に人間的自由に達するような美術教育への願い」であると語られており、美術を技術的専門性だけではなく、総合的な人間形成をもって成るものと考えたのです。

このように、まさに人間的自由に達するために美術・デザインを追求することこそが、本学の教育理念であると言えることができ、国内美術大学では最大規模の造形教育の大学となった現在も、この教育理念を継承し堅持しています。

## 教育目標

武蔵野美術大学造形学部は、美術を総合的な人間形成をもって成るものとする教育理念に基づき、次の教育目標を掲げる。

1. 幅広い教養を備え、人格的にも優れた美術・デザインを中心とする造形各分野の専門家を養成する。
2. 美術とデザインの領域における総合的な造形教育を通じて、広く知識を授けるとともに、深く専門の技能、理論や応用を教授研究し、豊かな美的教養をそなえた社会人を育成する。

こうした人材の輩出をもって、日本と世界の文化の創造発展と社会に貢献することを、武蔵野美術大学の使命とする。

## Contents

|            |                       |
|------------|-----------------------|
| 03         | ムサビ通信ってどんなところ?        |
| 08         | 学科・コース                |
| 10         | 授業の形態                 |
| 12         | 教育課程                  |
| 14         | だから、ムサビ通信の扉を叩いた。      |
| 16         | 入学制度                  |
| 学科・コース     |                       |
| 17         | [油絵学科] 絵画表現コース        |
| 23         | [油絵学科] 日本画表現コース       |
| 29         | [芸術文化学科] 芸術研究コース      |
| 35         | [デザイン情報学科] デザイン総合コース  |
| 42         | [マンガ] 美子とサバオ その①      |
| 44         | Q&A①                  |
| 授業科目       |                       |
| 46         | 文化総合科目                |
| 48         | 造形総合科目                |
| 50         | 授業科目一覧                |
| 51         | 教職課程・学芸員課程            |
| 52         | Q&A②                  |
| 授業形態とその学び方 |                       |
| 54         | [通信授業] 日本美術史          |
| 56         | [面接授業①] 絵画表現基礎ⅠB      |
| 58         | [面接授業②] デザイン基礎ⅠB      |
| 60         | [メディア授業] カメラリテラシー     |
| 62         | 年間スケジュール              |
| 63         | 学習サポート／学生生活支援         |
| 64         | [マンガ] 美子とサバオ その②      |
| 66         | [卒業生インタビュー①] 柏葉まゆさん   |
| 68         | [卒業生インタビュー②] 高橋良美さん   |
| 70         | [卒業生インタビュー③] 佐々木あゆみさん |
| 72         | [マンガ] 美子とサバオ その③      |
| 74         | キャンパス・施設紹介            |
| 78         | 造形学部通信教育課程 専任教員       |
| 80         | 卒業制作展の案内              |
| 交通案内       |                       |

# This



# Art



IS.



## ムサビ通信ってどんなところ？

武蔵野美術大学は知っていても、武蔵野美術大学の通信ってよくわからない。  
そもそも美術やデザインが通信で学べるの？  
そんな方のために、ムサビ通信の特色をまとめました。



# Musashino

Correspondence  
Course



# University







## 70年以上の歴史。 美大通信のパイオニア

# 1

武蔵野美術大学の通信教育課程（ムサビ通信）は1951年以来、美術分野における通信教育の先駆者として、70年以上にわたり学びの場を提供してきました。誰もが美術を学べる環境を目指し、独自の教育システムを築いています。



## 充実のスクーリング

スクーリングでは、キャンパスで教員から直接指導を受けることができます。専門的な技法や素材にも触れることができ、学生同士の交流も活発です。他大学と比べて日数や授業時間が多く、学びの密度が高いのも特徴。真剣に取り組む姿勢と集中力が求められます。



# 2







造形総合科目では、専攻に関わらずさまざまな造形分野を学ぶことができます。デッサンや絵画をはじめ、工芸や彫刻、デザイン、イラストレーション、マルチメディアなど、多彩な科目が揃っています。自分の専門領域を超えた視点や技術を身につけることができます。

## 幅広く 造形を学ぶ

# 4



## きめ細やかな 添削指導

通信授業課題に対しては、現役の美術家や研究者である教員が丁寧に添削を行います。添削では個々の学習状況や成果に応じた具体的なアドバイスが得られます。質の高いフィードバックにより、学びの理解と表現力を深めていくことができます。

# 3



## 未経験者も歓迎

美術大学に対して「デッサンが描けないと入れない」といったイメージがあるかもしれませんが、ムサビ通信は未経験者も歓迎します。入学にあたっては実技試験はなく、必要書類による選考のみが行われます。これまで培った感性や価値観を尊重しながら、それぞれの表現を磨いていく学びの場です。

# 5







ムサビ通信は通信授業のほか、メディア授業（オンデマンド型・オンラインスクリーング型）も用意され、学習の多くは自宅で行うこととなります。時間の制約がある方、地方に在住されている方などにとっても無理なく学びを継続できる環境が整っています。

時間や場所にとらわれない柔軟性



6



## 3年次からの編入学も可能

大学や短期大学等を卒業された方は、美術やデザインの経験がなくても3年次編入学が可能です。学科別専門科目は1年次配当科目から順番に履修するほか、並行して造形総合科目でも基礎的な科目を履修することで、着実に力をつけていくことができます。

7

美術大学ならではの学習環境



8

美術・デザインに特化した図書館や美術館、民俗資料室、イメージライブラリーなど、美術大学ならではの充実した施設を活用できます。また、東京国立博物館や東京国立近代美術館などの常設展が無料になる「キャンパスメンバーズ制度」も利用することができます。





## 教員免許状・学芸員資格の取得が可能

教員免許状・学芸員資格取得のための資格課程も用意。教職課程では中学校1種(美術)・高等学校1種(美術・工芸)の教員免許状取得を目指すことができます。美術に関係する仕事や、美術教員を志す学生も多く学んでいます。

# 9



仕事や家庭の事情、進学のハードルなどで美術大学への進学をあきらめていた方も、ムサビ通信なら創作を続けることができます。芸術を生活に取り入れることは、新たな活力にもつながります。入学後は、高校卒業後すぐの方から社会人、シニア層まで、年齢や職業の異なる多様な人々と学びを共にします。互いに刺激を受けながら学び合うなかで、表現の幅や価値観が広がることでしょう。さらに、卒業制作に向けて自分の表現と深く向き合う経験は、卒業後の創作活動や人生そのものを、より豊かにしてくれるはずです。

## 人生を豊かにする 自己成長の場

# 10



# 専門性を深め、 創造力の扉を開く 未来へつながる 4つの学びのコース

## Painting Course

### 油絵学科

#### 絵画表現コース

### 多様な表現を学び、 独自の 絵画を目指す

絵画表現を中心に、伝統的なテンペラ技法から、現代的なインスタレーションまで、多様な表現手法を学びます。スクーリングでは技術の習得だけでなく、「描く」ことを通して自己の内面と向き合い、対象を深く観察する姿勢を重視。個々の感性を大切に、独自の表現を目指します。



### 油絵学科

#### 日本画表現コース

### 伝統素材と 技法から触れて 表現を追求

「膠」「墨」「岩絵具」「毛筆」など、日本画特有の素材や技法を基礎から学びます。模写や古典技法の体得を通して技術を磨きつつ、3年次からは自己表現の探究に向き合います。伝統を継承しながら、現代における日本画の可能性を追求します。



ムサビ通信では、「絵画表現」「日本画表現」  
「芸術研究」「デザイン総合」の4つのコースから、  
自身の専攻を選び、学びを深めていきます。  
アートやデザインの領域が多様に変化する現代に対応すべく、  
それぞれのコースでは専門性を磨きながらも、  
広い視野を育てる横断的なカリキュラムを用意。  
まずは自分の興味・関心を出発点に、  
未来へつながる学びの扉を開いてみましょう。

## 芸術文化学科

### 芸術研究コース

## 芸術文化を 知的に探究し、 客観的に表す視点と 方法を学ぶ

歴史や理論を学び、芸術文化を多角的に理解する力を養います。主体的に調べ、疑問をもって考え、その成果を他者に伝える力を身につけていきます。学芸員資格の取得にも対応。アートと社会をつなぐ人材を育てます。



## Synthetic Design Course

## デザイン情報学科

### デザイン総合コース

## デザインの 領域を横断し、 新たな価値を 構想する

昨今のデザイン領域の拡張に対応し、専門分化された各領域を一つのデザインとして捉え直し、それぞれの領域を総合的に学ぶコースです。基礎から応用までをバランスよく学び、未来のデザイン領域を切り拓く力を養うコースです。





## 自宅で自分の ペースで学び 丁寧な添削指導が 受けられる

Home Learning

本学教員を中心に第一線の美術家や研究者が執筆した教科書と、課題や学習方法を詳しく記した学習指導書を使用する自宅学習型の授業です。通学せずに、自分のペースで学習を進められるのが特徴。提出されたレポートや実技課題作品には、担当教員からきめ細かな添削指導が行われ、理解を深めながら着実に学べます。

## 時代とともに 育まれた ムサビ通信の 学びのかたち



ムサビ通信の学び方は大きく3種類あります。  
自宅で課題に取り組む「通信授業」、  
キャンパスで教員から直接指導を受ける「面接授業（スクーリング）」、  
オンラインでの双方向授業である「メディア授業（オンデマンド・オンラインスクーリング）」。  
通信教育の長い歴史の中で培った確かなノウハウを活用し、  
学生それぞれの仕事や日常生活と両立させながら、  
効率的に学ぶことができる場を提供しています。

## Face to Face



## キャンパスで 直接指導を受け 深く学び、 新たな視点と出会う

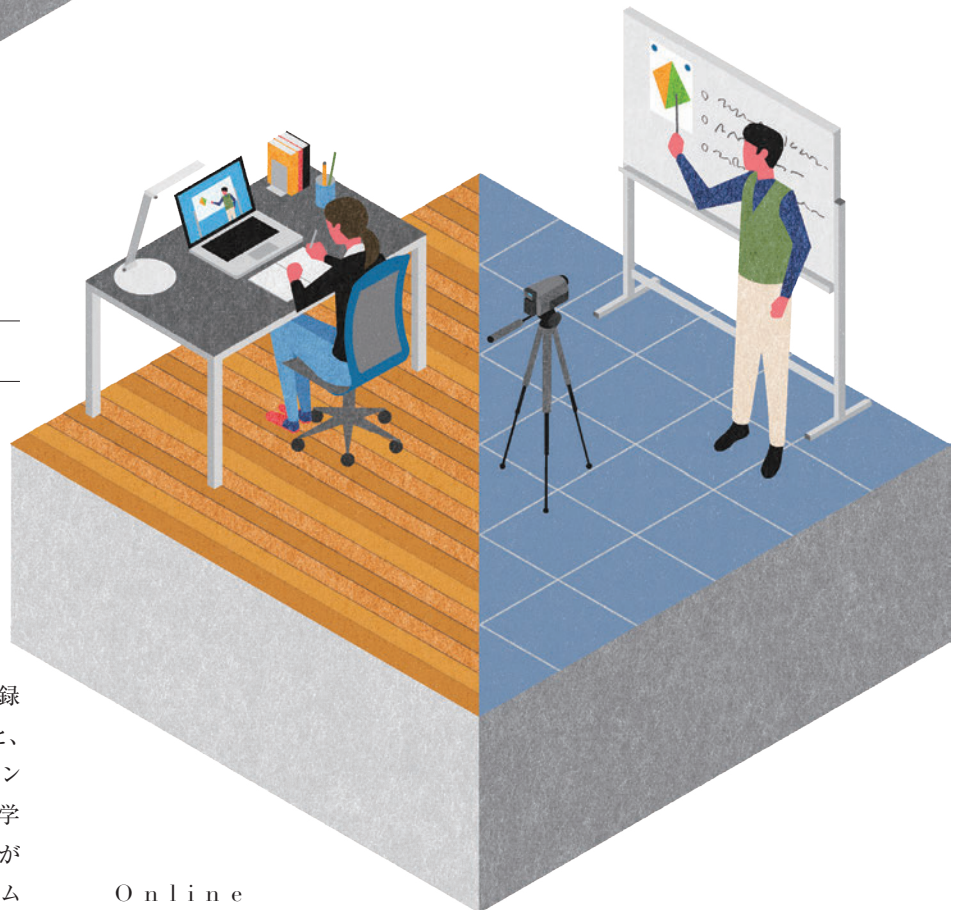
大学キャンパスで教員から直接指導を受ける対面形式の授業です。実技科目を中心に、造形表現を幅広く学べる内容が揃っており、学生同士の交流も活発です。日頃の学習で生まれた疑問をその場で質問できるため、新たな気づきや視点が得られる貴重な機会となります。他大学に比べて面接授業の機会が多いのも、ムサビ通信ならではの特徴です。

## オンデマンド・オンラインスクーリング

## メディア授業

## 時間や場所にと られず 高い教育効果を 実現

オンライン上で行われる授業です。録画授業を視聴するオンデマンド型と、遠隔会議システムを用いたオンラインスクーリング型の2種類があり、通学せずに、自由な時間や場所で学習が可能です。Web上のプラットフォームを活用することで、教員への質問や学生同士の意見交換も行え、対面に近い学習効果が得られます。



## Online



# 造形の基礎を身につけ、 専門性を磨く 入学から卒業までの カリキュラム。

## 文化総合科目

幅広い学問分野と造形の理論を学ぶ。

さまざまな学問分野と造形をつなぐ科目群です。美術やデザインなどの専門分野は、社会や他の学問との関わりの中で成り立っていくものです。文化総合科目では、美術史や造形理論に関わる科目から、人文科学、社会科学、自然科学など諸学問分野の基礎的、応用的な授業科目、さらに外国語、健康やスポーツなどに関する科目も開設され、多彩な科目から各自の関心に合わせて選択し、受講することができます。

詳細は

P46

## 造形総合科目

造形の基礎や総合力を身につける。

あらゆる造形分野に共通する、基礎的・総合的な能力を習得するための授業が網羅されている科目群です。デッサンや絵画、工芸、デザインなどの造形力を身につける科目のほか、コンピュータを用いた造形やマルチメディア関連など、今日的な情報環境に関する科目も多数開講されます。興味関心に合わせて自由に選択し、受講することができます。

詳細は

P48

### 1年次入学の場合

卒業に必要な  
合計単位数 **124** 単位以上

文化総合科目

**40** 単位

造形総合科目

**24** 単位

### 3年次編入学の場合

卒業に必要な  
合計単位数 **62** 単位以上

一括単位認定

**62** 単位（文化総合科目42単位、造形総合科目20単位）

ムサビ通信のカリキュラムは、「文化総合科目」「造形総合科目」「学科別専門科目」からなり、それぞれ必要な単位を修得することで卒業、つまり学士(造形)の学位を取得することができます。単位とは、履修した科目を十分に学習したと認められる場合に与えられるもので、年次ごとに計画的に履修することが重要です。1～2年次には基礎固めができる科目を積極的に学び、3～4年次に専門性を身につける科目を履修することで、効率的に学習を深めていくことができます。

## 学科別専門科目

自身の表現や関心を深め、専門性を高める。

専門分野をより深く、横断的に学ぶため、4つのコースそれぞれに開設される科目群です。どのコースでも年次ごとに「必修科目」や「選択必修科目」が設定されており、年次が上がるほど専門性も高まっていきます。卒業を前に全員が取り組む「卒業制作」もこれに含まれます。編入学の場合でも、学科別専門科目は基礎から順番に取り組みます。初学者は文化総合科目や造形総合科目も並行して学び、基礎を固めることを推奨します。

絵画表現コース

P17

日本画表現コース

P23

芸術研究コース

P29

デザイン総合コース

P35

## 教職に関する科目

◎2年次～

「美術」「工芸」の教員免許状を取得するための科目です。2年次以降に教職課程の登録手続きを行い、履修します。

詳細は

P51

## 博物館に関する科目

◎3年次～

博物館・美術館の学芸員資格を取得するための科目です。3年次以降に学芸員課程の登録手続きを行い、履修します。

詳細は

P51

## その他

いずれの科目の単位でも可(文化総合科目、造形総合科目、学科別専門科目、教職に関する科目・博物館に関する科目)

学科別専門科目

30 単位

その他

30 単位

造形総合科目

4 単位

学科別専門科目

30 単位

その他

28 単位



美術教員になる夢を追いたい  
(10代女性・高校生)



アートとの向き合い方を深め、  
美術鑑賞の質を高めたい  
(30代女性・不動産会社勤務)



「美大に行きたかったな」という思いを  
ずっと持ち続けていた  
(50代女性・主婦)



美術を趣味ではなく、  
もっと本格的に学びたい  
(40代男性・食品メーカー勤務)



## だから、 ムサビ通信の 扉を叩いた。

創作活動をもっと充実させたい。  
芸術文化に触れ、学ぶことで  
生活を豊かにしたい。プロとしての  
キャリアアップを目指したい——。  
武蔵野美術大学の通信教育課程は、  
あらゆる人に開かれた  
造形芸術の総合的な大学です。  
ムサビの伝統と独自の  
カリキュラムによって、  
本格的な造形教育を実践し、  
幅広いニーズにこたえています。

ワクワクするようなデザインを  
生み出せるようになりたい  
(20代女性・専門学校生)



芸術に関する理解を深め、なぜ良い作品と考えるのか、  
言語化できるようになりたい  
(50代男性・金融機関勤務)



一度きりの人生、  
美大生として学んでみたい  
(40代女性・美容師)



卒業制作展で見たような感動を与えられる作品を、  
今度は作る側になりたい  
(40代女性・一般企業勤務)



絵画教室では物足りず、  
もっと多角的な視点から美術を学びたい  
(50代女性・主婦)



多くの仲間と制作したり、  
刺激を与え合う環境に身を置いて  
表現力を高めたい  
(20代女性・市役所勤務)



地方に住みながら、  
自分のペースで好きな美術を学びたい  
(10代男性・高校生)



ムサビ通信ならではの  
幅広い造形科目を学ぶことで、  
表現の幅を広げたい

(40代男性・画家)



自分のデザインに自信や根拠を持てず、  
デザインの考え方から学び直したい

(30代女性・DTPデザイナー)



デザインの考え方を取り入れて、  
業務の幅を広げたい

(20代男性・飲料メーカー広報)



日本に住みながら  
日本画に触れたことがなく後悔していたが、  
ムサビ通信で学んで日本画の魅力を広めたい

(60代・主婦)



未経験でも受け入れてくれる  
ムサビ通信で学びたい

(20代男性・エンジニア)



定年退職し、いつかは学びたいと思っていた  
美術に挑戦したい

(60代男性・無職)



歴史があり、教育環境の充実した  
ムサビ通信で学びたい

(10代女性・高校生)



「つくる力」を身に付けて、  
仕事や人生においても可能性を広げたい

(30代女性・広告代理店勤務)



経済的な事情で美大への進学ができなかったが、  
美術は諦めたくなかった

(10代男性・高校生)



仕事をしながらでも  
美大生になれることに魅力を感じた

(30代男性・設計事務所勤務)



学芸員になるために  
幅広い知識を身に付けたい

(20代女性・大学生)



画家を目指すために、  
技法だけでなく学びも得たい

(20代男性・専門学校生)



入学のための  
選抜試験はありません。  
必要書類を提出し、  
選考に合格すれば  
入学することができます。

## 1 年次入学

**対象** 高等学校卒業以上の学歴をもつ全ての方

造形を学ぶ意欲のある方であれば、出願書類による入学選考により入学することができます。基礎的な造形力や理論から専門分野の能力まで、じっくり時間をかけて身につけます。

## 編入学

**対象** 大学・短大・専修学校を卒業した方など

大学・短大の卒業者のほか、専修学校を卒業した方など、所定の条件を満たしていれば、2年次または3年次からの編入学が認められます。美術・デザインの経験は問いません。単位の認定は2年次編入学の場合は上限46単位、3年次編入学の場合は一律62単位です。単位が認定される分、学科別の専門科目に集中して取り組みやすいなどの利点があります。

## 科目等 履修生

[一般]

**対象** 特定の科目だけを履修したいという方

18歳以上の社会人、他大学の学生などが無理のない範囲で造形教育を受けることができます。入学前に本学を体験する「Pre-Study Program (PSP)」という位置づけもあります。

[教職生]

**対象** 他の教科の免許状をもつ現職教員

所定の単位を修得することにより、「美術」「工芸」の免許状を取得することができます。

[特修生]

**対象** 大学入学資格のない方

必要な単位を修得することによって1年次からの入学が認められます。

## 通学課程への転籍

本学編入学選抜試験に合格することにより、  
本学の通学課程への転籍が可能となります。





Department of Painting  
Painting Course

油絵学科

## 絵画表現コース

伝統的な技術や表現から現代の表現まで幅広い知識と  
教養を身につけながら、これまでのジャンルにとらわれない、  
新たな可能性をも視野に入れた表現を目指します。







絵画表現III B[人体の表現]で学生が描いた作品。人体と観葉植物を観察する中で各自の内面との対話を深める。スクーリングでは、他の学生の作品を見る事で、それぞれの感性の違いや多様性を学ぶ。

# 描くという行為、その本質へ

## 絵画とは、自己実現の結晶である

油絵という表現は、明治初期に「絵画」という概念とともに西洋から日本へ伝わりました。それから160年以上が経ち、文化や芸術を取り巻く環境が大きく変化する中でも「描く」という行為の本質には揺るぎないものがあります。

「描く」とは、本来、自分の内面をじっくりと見つめる行為です。描く対象は外の世界にありますが、それをどう見つめ、どう表現するかは人それぞれ。理想とする絵を探し求めて、キャンバスに映し出される“自己”との対話を重ねていく。そうして生まれた作品が自分の理想と重なったとき、その絵はアートとして外の世界へと広がっていきます。絵画とは、自己実現の結晶とも言えるでしょう。

絵画表現コースでは、学生一人ひとりの制作に寄り添いながら、それぞれに適した表現方法を見出せるよう、さまざまな科目を設けています。必修科目では、絵画表現に必要な基礎的な知識を身につけます。対象の捉え方や明暗・色彩、構図、絵画空間の構成など、造形に不可欠な要素をじっくりと学びます。また、実技だけでなく、造形に対する思考力を養う科目も設け、テーマの発見や作品の深化へとつなげていきます。特徴的なのが、「人体」を描く授業です。絵画史の中でも普遍的なモチーフである人体を観察し、表現する力を養うため、「絵画表現III B[人体の観察と表現]」では、対面で集まりながら、モデルを前に実際に描く授業を行っています。人体は常にわずかに動いているため、観察力が求められます。安定している部分を見極めながら線を引くこの作業、「描く」を極めるためには実は徹底的に対象を見ることこそ、大切なのです。「見る力」は、自分の作品を見る眼にも繋がります。

## 絵を描いたことがなくてもいい

描くことは内面を見つめる行為ですが、それだけでは息が詰まってしまう。目の前にある現実の世界からもヒントを得て、自分の中に取り込む。その“内と外”を行き来するプロセスこそが、描くという行為の本質です。そして、それを始めるのに特別な技術は必要ありません。極端な話、一度も絵を描いたことがなくても構わないのです。

大切なのは、何を面白がり、何を表現したいかをイメージできるか。技巧に優れた作品には驚きがあるかもしれませんが、本当に心を打つのは、その人にしか描けないテーマに向き合い、葛藤しながらも形にしようとする姿勢が表れた絵ではないでしょうか。

最近では生成AIによる画像生成が話題になることもありますが、イメージすることを他者に委ねるのではなく、自らの手と身体を使って表現することには、決定的な違いがあります。他者の価値観ではなく、自分自身の価値観をもとに表現を組み立てていく。そこにこそ、絵画制作の醍醐味があります。まずは画材に触れ、「描く」を楽しむところから一緒に始めてみませんか。

exercise 01

## 絵画表現基礎 I B

### 静物を描く

物の見方や造形の考え方を学ぶ上で、最も取り組みやすく、かつ普遍性のある静物を描きます。構図や構成、空間の表現や色彩など、絵画表現の基礎を学ぶことになりますが、なにより、描くことの楽しさと奥深さを体感することが目的です。

exercise 02

## 絵画表現III B

### 人体の観察と表現

人体は絵画史の中で最も多く描かれている普遍的なテーマであると同時に、造形を学ぶ上で多くの要素が含まれる重要な題材です。人体をしっかりと観察し、そこで得られた発見を基に、それぞれの表現を目指します。

exercise 03

## 絵画表現 V B

### 風景・心象風景

自ら制作する風景の内容を自由に設定し、アトリエ内で制作します。「ものを見て描く」という行為と「自分の作品を作る」という事の間を行き来しながら、この課題の後に続く自由制作につながっていく要素を学びます。

exercise 04

## 絵画表現 VIB

### それぞれのテーマを考える

絵画表現とは、それぞれのテーマを考え、そのテーマに適したメディアや材料、表現方法で制作することが本来の目的です。そのための足掛かりとなる実験的な制作を試みます。



## 油絵学科[絵画表現コース]卒業制作

Graduation Works

IWASATO Ami

岩里 杏美

のぞく

石ころの上で  
踊らされて

F80  
綿布、アクリルインク、顔料、  
アキーラ  
2024年度卒業制作



WATANABE Masako

渡邊 雅子

君を探し空を見上げる

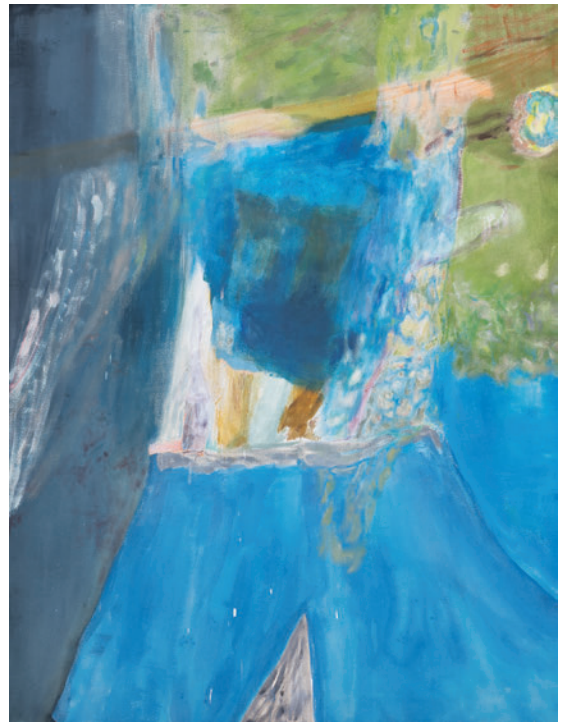
溢れる

F100  
キャンバス、油絵具  
2024年度卒業制作

教員コメント

自画像を描くことは特別珍しくないが、作者にとっては特別になった。作者は自分の表面的なものをただ見ているのではなく、描くことを通して内面までを深く見つめ直すことができた。そのことで表現としての説得力を強くした。内に秘めた悲しみは、自身の外側に希望を見出す変化をもたらしたようだ。大理石の中に固く閉じ込められていた感情が風の動きを満たした空間に徐々に解き放たれた。見ることで描くことが一体となった時、作者自身が望んだ本来の自分の姿を画面に見出し作品に投影させたのだと感じる。

(油絵学科絵画表現コース 教授 吉川民仁)







#### 教員コメント

作者は日常生活の中に在る物、人、時間、出来事の全てに付箋を貼っていきたい気持ちでドローイングを描くという。だから「この作品は何を描いているの?」と問われても端的に返答できることではないのである。それは、言ってみれば自分の感じた有りのままの世界を描いているだけだからだ。しかし、その世界は絵画にしようすると見失ったり、探している内に一瞬で変化してしまうものでもある。そして、これまでは構えて制作することが多かった。そのことで返って獲物を取り逃していたが、今回は狙いを定めて確実に自分の世界を手に入れたようだ。

(油絵学科絵画表現コース 教授 吉川民仁)

KAIHARA Chika

貝原 知佳

→  
雪の桜と、その向こう

↓  
雪の三角屋根

P100  
キャンバス、油絵具  
2024年度卒業制作

#### 教員コメント

一見すると素朴で普通の風景画の様だが、作者の関心は繰り返される家並の形と、屋根に降り積もった雪の連続性にある。

敢えて空間は平面的に扱い、雪の境界線をつなげていくことで、独特のリズムを作り出し、模様の表現に還元されている。色彩に関しては、彩度を抑えることによって、物静かで穏やかな世界観を作り出すことに成功している。

作者の素直さと興味を持った内容が、理知的に統合された秀作だ。

(油絵学科絵画表現コース 教授 関口雅文)





## 油絵学科〔絵画表現コース〕の履修モデル

### 1年次

|               |                |             |
|---------------|----------------|-------------|
| 文化総合科目から自由に選択 | 12 単位          | 授業形態の内訳     |
| 造形総合科目から自由に選択 | 10 単位          |             |
| 学科別専門科目       | 10 単位          |             |
| 必修科目          | 絵画表現基礎ⅠA (2単位) | 通信授業 17 単位  |
|               | 絵画表現基礎ⅠB (2単位) | 面接授業 11 単位  |
| 選択必修科目        | 絵画表現基礎Ⅱ (2単位)  | メディア授業 4 単位 |
|               | 絵画表現基礎Ⅲ (2単位)  |             |
|               | 絵画表現基礎Ⅳ (2単位)  |             |
| 合計 32 単位      |                |             |

### 2年次

|               |              |            |
|---------------|--------------|------------|
| 文化総合科目から自由に選択 | 13 単位        | 授業形態の内訳    |
| 造形総合科目から自由に選択 | 12 単位        |            |
| 学科別専門科目       | 6 単位         |            |
| 必修科目          | 絵画表現ⅢA (1単位) | 通信授業 18 単位 |
|               | 絵画表現ⅢB (2単位) | 面接授業 13 単位 |
|               | 絵画表現ⅣA (1単位) |            |
|               | 絵画表現ⅣB (2単位) |            |
| 合計 31 単位      |              |            |

### 3年次

|               |               |             |
|---------------|---------------|-------------|
| 文化総合科目から自由に選択 | 11 単位         | 授業形態の内訳     |
| 造形総合科目から自由に選択 | 10 単位         |             |
| 学科別専門科目       | 10 単位         |             |
| 必修科目          | 絵画表現ⅤA (1単位)  | 通信授業 16 単位  |
|               | 絵画表現ⅤB (2単位)  | 面接授業 14 単位  |
|               | 絵画表現ⅥA (1単位)  | メディア授業 1 単位 |
|               | 絵画表現ⅥB (2単位)  |             |
|               | 絵画表現演習 (1単位)  |             |
| 選択必修科目        | 複合的表現ⅠA (1単位) |             |
|               | 複合的表現ⅠB (2単位) |             |
| 合計 31 単位      |               |             |

### 4年次

|               |               |            |
|---------------|---------------|------------|
| 文化総合科目から自由に選択 | 8 単位          | 授業形態の内訳    |
| 造形総合科目から自由に選択 | 10 単位         |            |
| 学科別専門科目       | 12 単位         |            |
| 必修科目          | 絵画表現ⅦA (1単位)  | 通信授業 20 単位 |
|               | 絵画表現ⅦB (2単位)  | 面接授業 10 単位 |
|               | 卒業制作 (6単位)    |            |
| 選択必修科目        | 複合的表現ⅡA (1単位) |            |
|               | 複合的表現ⅡB (2単位) |            |
| 合計 30 単位      |               |            |

※授業形態の内訳はあくまで目安です

## 絵画表現コースの学科別専門科目一覧

| 単位数 | 通信授業 | 面接授業 | メディア授業 |          |
|-----|------|------|--------|----------|
| 2   |      |      |        | 絵画表現基礎ⅠA |
|     |      | 2    |        | 絵画表現基礎ⅠB |
| 1   |      |      |        | 絵画表現ⅢA   |
|     |      | 2    |        | 絵画表現ⅢB   |
| 1   |      |      |        | 絵画表現ⅣA   |
|     |      | 2    |        | 絵画表現ⅣB   |
| 1   |      |      |        | 絵画表現ⅤA   |
|     |      | 2    |        | 絵画表現ⅤB   |
| 1   |      |      |        | 絵画表現ⅥA   |
|     |      | 2    |        | 絵画表現ⅥB   |
|     |      | 1    |        | 絵画表現演習   |
| 1   |      |      |        | 絵画表現ⅦA   |
|     |      | 2    |        | 絵画表現ⅦB   |
| 4   | 2    |      |        | 卒業制作     |
| 2   |      |      |        | 絵画表現基礎Ⅱ  |
|     |      | 2    |        | 絵画表現基礎Ⅲ  |
|     |      | 2    |        | 絵画表現基礎Ⅳ  |
| 1   |      |      |        | 複合的表現ⅠA  |
|     |      | 2    |        | 複合的表現ⅠB  |
| 1   |      |      |        | 複合的表現ⅡA  |
|     |      | 2    |        | 複合的表現ⅡB  |

### 必修科目

必修科目には、絵画の基礎を学ぶ「絵画表現基礎」と、専門的な学習を行う「絵画表現」があります。「絵画表現基礎Ⅰ」では描くことの楽しさと同時に、その奥深さを知ることになります。そして「絵画表現Ⅲ―Ⅶ」では、より専門的な知識を身につけ、個々の表現に結び付けるための学習をします。

### 選択必修科目

「絵画表現基礎Ⅱ―Ⅳ」は基礎力を養う科目で、それぞれの志向に合わせて選択することになります。3～4年次の「複合的表現Ⅰ―Ⅱ」では、新たな表現の可能性として、現代美術の一端に触れることになります。これらの選択必修科目はそれぞれ異なる内容ですので、すべてを選択することもできます。

### 編入学生の場合

文化総合科目や造形総合科目は大幅な単位認定がされるため、学科別専門科目に集中して取り組むことができます。

ただし、絵画や造形の経験が浅い方は、造形総合科目の「造形基礎Ⅰ・ⅡA・ⅡB」や、学科別専門科目の『基礎』という名称が付いた科目の履修を推奨しています。具体的な履修モデルや推奨科目は入学時に配布する履修ガイドブックに記載があります。

詳細はWebシラバス(学2課程)をご覧ください

🔍 ムサビ通信 シラバス



Department of Painting  
Japanese Painting Course

油絵学科

## 日本画表現コース

古来から受け継がれている日本画材である  
「膠」「墨」「岩絵具」「毛筆」などを用いて、日本画ならではの  
描法・技法を学びながら、現代絵画としての  
日本画の創造性・可能性を高めていくことを目的とします。





# 伝統素材と技法、その奥深さに触れる

## 古来より受け継がれた素材の質感

日本画は、東洋画の流れを汲みながら、日本の風土と感性の中で独自に発展してきた絵画表現です。膠(にかわ)、岩絵具、箔、泥、墨、和紙——これら古来より受け継がれてきた素材には、独特の匂いや質感があり、西洋の絵具とは異なる、手と身体に響く奥深い手触りがあります。

しかし現代では、こうした素材や技法に実際に触れたことのある人は、決して多くありません。だからこそ、日本画表現コースでは、まず素材と技法に出会うことを大切にしています。事前に特別な知識や経験は必要ありません。むしろ、まっさらな状態で臨むほうが、より深く吸収できるカリキュラムになっています。

最初のステップは、日本画の用具に触れ、使い方を学ぶこと。そして段階的に、描写や技法を習得していきます。「日本画基礎ⅢB[古典模写]」では、古典作品を「上げ写し」という手法で模写し、古の絵師たちの手の動きに触れるような学びを体験します。こうして技法が身体に馴染むと、自身の表現にも自信を持って取り組めるようになっていきます。

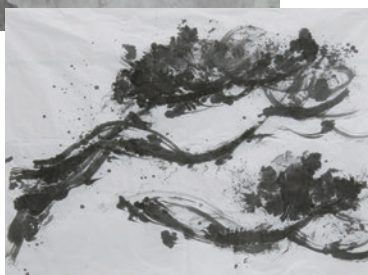
コースには自由で実験的なアプローチも用意されています。例えば「日本画研究Ⅲ」では、墨を使い、大きな紙に自由に描いていく授業があります。多様な用具を手に、のびのびと絵具をぶつけるように描く時間は、心を解放し、創作の原点を思い出させてくれると毎年好評です。基礎を経て、次第に自分の表現へと向かっていく段階では、指導教員が一人ひとりの個性に寄り添いながら、表現を深めていくサポートを行います。

## “経験があるから良い絵が描ける”とは限らない

このコースの大きな特徴の一つが、学生の年齢層が非常に幅広いことです。10代から80代まで、多様な背景を持つ人々が学んでいます。他分野の大学を卒業し仕事を経てから入学した方、子育てを終えた方、美大受験経験者など、動機も経験もさまざまですが、“経験があるから良い絵が描ける”とは限らないのが面白いところです。初めて筆を取ったご高齢の学生が、驚くほど魅力的な線を描くこともあります。こうした世代や価値観の異なる人たちがともに制作に取り組む教室には、まるで雑踏のような心地よい熱気と共鳴が満ちています。

通信教育の特徴として、スクーリングは集中的に行われるため、限られた日数でも密度の濃い制作が可能です。絵画表現コースと専門科目を横断的に履修することもでき、日本画と油絵、それぞれの素材や技法の違いを体感しながら学ぶこともできます。

卒業後の進路は、作家活動を続ける人もいれば、学びを日常や仕事に活かす人もいます。けれど、学びは卒業で終わりではありません。描き続けることで、人生を通じて日本画の奥深さや美しさと触れ合い続けることができます。そうした豊かな時間を、一人でも多くの方に味わっていただけたらと思っています。



大きな紙に自由に描かれた「日本画研究Ⅲ」の作品



## 日本画基礎Ⅰ

### 日本画を描く

日本画の用具用材の紹介をもとに、与えられたモチーフを使い、F15号以上の画面への紙本着彩を通して用具の扱い方および制作の基礎となる準備から完成までの工程を体験します。日本画の初学者がはじめに取り組む課題です。

## 日本画基礎ⅢB

### 古典模写

古典作品の模写を行います。作品の鑑賞も含め、模写として描き再現することで、描写の工程、描写法など、日本画素材がどのように扱われ使用されているかを実践的に学び、古典作品に用いられているさまざまな技法や様式を検証することを目的とします。

## 日本画応用ⅠB

### 自己表現研究

この課題では、日本画制作におけるオリジナルな表現、自己に合った表現を追求するためのモチーフの選択、取材の仕方や画面への処理法の研究へと学習を発展させます。さらには、金箔や銀箔などを用いた際の装飾性や意匠性の役割を学び、表現としてどのような可能性があるかを試みることも目標とします。

## 日本画研究Ⅲ

### 墨を使って描く

墨と筆に慣れる導入として付立てを行い、更に身近な草花や風景をモチーフにした「墨によるデッサン」をもとに、最終的には大画面に挑みます。独自の視点で捉えることと、水がもたらす表現の可能性を追求します。





MIYASAKA Kenji

## 宮坂 賢次

### 共生 I

### 共生 II

F100  
紙本彩色  
2024年度卒業制作

#### 教員コメント

建造物・物体と生体との共存共生を追求した画面であろうか。注目したいのは、点と線、面と曲線直線とあらゆる現象を用い融合を試みているその過程である。それはまさに造形であり、作者と画面との対峙の時間であることを感じさせる。抱いたイ

メージを具現化しようとしている濃密な時間がそこにあり、視線の先の深淵なる絵画空間へと誘われるのだ。向こうにあるのは文明社会の未来なのだろうか。画面は我々に問いかけてくる。

(油絵学科日本画表現コース 教授 室井佳世)







TANIGUCHI Yoshiko

谷口 芳子

海女の庭

真珠の子

F100  
紙本彩色  
2024年度卒業制作

教員コメント

地元の海の風物詩をモチーフに、日本画材の特性・活かし方を模索している素朴な行為が画面の端々にまで歓喜の声となって共鳴している。決してあざとくならず、角を立てず最適な場所として馴染んだ画面になっているのは、描き手本人の性質ゆえ



か。このナチュラルな行為が紡ぎ出しているものは、日常であり非日常であり、不思議な世界観を醸し出している。心地よさを纏いつつ、絵とは何かを考えさせられる非凡な画面となっている。

(油絵学科日本画表現コース 教授 室井佳世)

OKAYASU Koto

岡安 古都

香白梅図

彩紅梅古木図

M100  
紙本彩色  
2024年度卒業制作

教員コメント

梅の木を煮出して染料を作り上げるところから彼女の制作は始まっている。この感性を頼りに自然素材の中から抽出したものから生み出されたものは、作者の祈りのかたちとも言えるだろう。スピリチュアルな空気感が漂う芳醇な画面である。

(油絵学科日本画表現コース 教授 室井佳世)





## 油絵学科[日本画表現コース]の履修モデル

### 1年次

|               |         |       |                                        |
|---------------|---------|-------|----------------------------------------|
| 文化総合科目から自由に選択 |         | 11 単位 | 授業形態の内訳                                |
| 必修科目          | 日本画表現入門 | (1単位) |                                        |
| 造形総合科目から自由に選択 |         | 10 単位 |                                        |
| 学科別専門科目       |         | 10 単位 |                                        |
| 必修科目          | 日本画基礎Ⅰ  | (2単位) |                                        |
|               | 日本画基礎Ⅱ  | (2単位) | 通信授業 19 単位<br>面接授業 8 単位<br>メディア授業 4 単位 |
| 選択必修科目        | 日本画研究Ⅰ  | (2単位) |                                        |
|               | 日本画研究Ⅱ  | (2単位) |                                        |
|               | 日本画研究Ⅲ  | (2単位) |                                        |
| 合計            |         | 31 単位 |                                        |

### 2年次

|               |           |       |                          |
|---------------|-----------|-------|--------------------------|
| 文化総合科目から自由に選択 |           | 13 単位 | 授業形態の内訳                  |
| 造形総合科目から自由に選択 |           | 8 単位  |                          |
| 学科別専門科目       |           | 10 単位 |                          |
| 必修科目          | 日本画基礎Ⅲ A  | (1単位) |                          |
|               | 日本画基礎Ⅲ B  | (2単位) |                          |
|               | 日本画基礎Ⅳ A  | (1単位) | 通信授業 21 単位<br>面接授業 10 単位 |
|               | 日本画基礎Ⅳ B  | (2単位) |                          |
|               | 日本画基礎Ⅴ    | (2単位) |                          |
| 自由選択          | 絵画表現基礎Ⅰ A | (2単位) |                          |
| 合計            |           | 31 単位 |                          |

### 3年次

|               |          |       |                          |
|---------------|----------|-------|--------------------------|
| 文化総合科目から自由に選択 |          | 11 単位 | 授業形態の内訳                  |
| 造形総合科目から自由に選択 |          | 12 単位 |                          |
| 学科別専門科目       |          | 8 単位  |                          |
| 必修科目          | 日本画表現演習  | (1単位) |                          |
|               | 日本画応用Ⅰ A | (1単位) |                          |
|               | 日本画応用Ⅰ B | (2単位) | 通信授業 21 単位<br>面接授業 10 単位 |
|               | 日本画応用Ⅱ A | (1単位) |                          |
|               | 日本画応用Ⅱ B | (2単位) |                          |
| 自由選択          | 複合的表現Ⅰ A | (1単位) |                          |
| 合計            |          | 31 単位 |                          |

### 4年次

|               |          |       |                         |
|---------------|----------|-------|-------------------------|
| 文化総合科目から自由に選択 |          | 11 単位 | 授業形態の内訳                 |
| 造形総合科目から自由に選択 |          | 9 単位  |                         |
| 学科別専門科目       |          | 11 単位 |                         |
| 必修科目          | 日本画応用Ⅲ A | (1単位) |                         |
|               | 日本画応用Ⅲ B | (2単位) |                         |
|               | 卒業制作     | (6単位) | 通信授業 23 単位<br>面接授業 8 単位 |
| 自由選択          | 絵画表現基礎Ⅱ  | (2単位) |                         |
| 合計            |          | 31 単位 |                         |

※授業形態の内訳はあくまで目安です

## 日本画表現コースの学科別専門科目一覧

| 単位数 | 通信授業 | 面接授業 | メディア授業 |          |
|-----|------|------|--------|----------|
| 2   |      |      |        | 日本画基礎Ⅰ   |
| 2   |      |      |        | 日本画基礎Ⅱ   |
| 1   |      |      |        | 日本画基礎Ⅲ A |
| 2   |      |      |        | 日本画基礎Ⅲ B |
| 1   |      |      |        | 日本画基礎Ⅳ A |
| 2   |      |      |        | 日本画基礎Ⅳ B |
| 2   |      |      |        | 日本画基礎Ⅴ   |
| 1   |      |      |        | 日本画表現演習  |
| 1   |      |      |        | 日本画応用Ⅰ A |
| 2   |      |      |        | 日本画応用Ⅰ B |
| 1   |      |      |        | 日本画応用Ⅱ A |
| 2   |      |      |        | 日本画応用Ⅱ B |
| 1   |      |      |        | 日本画応用Ⅲ A |
| 2   |      |      |        | 日本画応用Ⅲ B |
| 4   | 2    |      |        | 卒業制作     |
| 2   |      |      |        | 日本画研究Ⅰ   |
| 2   |      |      |        | 日本画研究Ⅱ   |
| 2   |      |      |        | 日本画研究Ⅲ   |

### 必修科目

必修科目は、全ての日本画に関連する科目を履修する上で「日本画表現入門」「日本画基礎Ⅰ」を先に受け、その他の必修科目は必要な力を養うように基礎から応用へと段階的に内容が組まれています。「基礎」がついている科目は用具を扱う基本を重点的に学び描く楽しさを味わい、「応用」がついている科目はオリジナルな作品を描くことを目的に高度な力を養うための課題内容になっています。

### 選択必修科目

選択必修科目は3科目用意されており、その中から1科目を選択することで卒業所要単位を満たすようになっています。理想としては1年次に履修するのが望ましいですが、どの年次に履修しても効果のある内容になっています。3科目全てを履修するとさらに良い学習効果が得られます。

### 編入学生の場合

文化総合科目や造形総合科目は大幅な単位認定がされるため、学科別専門科目に集中して取り組むことができます。

ただし、日本画や造形の経験が浅い方は、必要に応じて造形総合科目から「造形基礎Ⅰ・Ⅱ A・Ⅱ B」や「デザイン」「絵画研究」の名称が付いた科目の履修を推奨しています。

具体的な履修モデルは入学時に配布する履修ガイドブックに記載があります。

詳細はWebシラバス(学2課程)をご覧ください

ムサビ通信 シラバス

藝術文化学科

造形文化を中心に、芸術文化に関する認識の成り立ちを理解し、その研究の方法論を「資料・情報の調査と分析」「研究テーマの発想・構想」「成果の論述・表現」の実践を通して身につけます。





# アートと社会を繋ぐ人材を育てる



博物館・美術館を中心とした社会教育機関が、市民の学習活動に貢献するための取り組みを理解する「生涯学習概論」

30万冊以上の図書を所蔵する図書館を利用することにより、研究を一層充実させられる



## 芸術文化を伝えるための学び

展覧会や地域の芸術祭、あるいはWebサイトやSNSなど、昨今、私たちとアートの距離はますます近づいています。アートを自由に見て楽しむ機会が増えるほど、それを文化の所産として捉え、知的に理解し探究したいと考える方もいらっしゃるでしょう。芸術研究コースは、造形文化を中心に広く芸術や文化について研究し、それを表現できる真摯な研究者、優れた鑑賞者を育てることを目的としたコースです。

芸術研究コースでは造形文化に関する知識・理論などいわゆる学科を中心に学ぶことが特徴の一つです。授業では、資料・情報の調査と分析、研究テーマの発想・構想、成果の論述・表現といった研究の方法論を身につけていきます。

例えば必修科目の「芸術研究リサーチ」「芸術研究コンセプト」「芸術研究ライティング」では、造形に関する情報の探索や分析、調査・観察を通して得た気づきを整理し、そこから問題を見つけ、仮説・推論を組み立てていくという思考

のトレーニングと、造形について他者に伝える際の課題や手法を段階的に学びます。

必修科目は、卒業研究報告書を書くための基礎的なスキルとして活用できるよう組み立てられています。芸術研究コースでは3年次後半から各自が設定したテーマに基づいて、卒業研究報告書に取り組みます。卒業研究のテーマ・題材は、芸術・文化に関する範囲の中で、受講生が主体的に決定します。これまでの知識や経験に基づくこと、ムサビ通信の課題で興味や関心を持ったこと、仕事や地域に関わることなどから、探究したい事柄を検討してみましょう。

## 芸術文化の未来のために

通信教育の特徴として、自宅学習を中心に学ぶことができる点がありますが、一方で充実した大学施設を活用できることも大きな魅力です。図書館や美術館、民俗資料室、イメージライブラリーなどを利用したり、「造形総合科目」を選択するこ



「博物館実習」ではギャラリーに見立てた空間にアーティストの作品を展示することで、作品と空間の関係性について学ぶ



実制作と表現の基礎を学ぶこともできる「造形総合科目」を選択することで、つくり手の想いや思考に迫る



とで、実制作と表現の基礎を学ぶこともできます。キャンパスには日々、アーティストを志す学生たちが集い、表現を磨いています。その活気溢れる空気に触れることも、貴重な刺激となるはずです。ぜひご自身の興味関心に応じて、環境を存分に活用してみてください。

また、芸術研究コースでは「学芸員資格」の取得も可能です。作品の調査研究や展示、保存、教育普及など、美術館・博物館の仕事に関心がある方に対応したカリキュラムを整えています。学芸員資格取得のための学びは、ミュージアムの歴史や展覧会企画の裏側を知ることにつながりますので、芸術をより深く理解するうえで有意義な機会になるでしょう。芸術研究コースでは、「芸術に興味がある」というその気持ちが出発点です。様々な立場から芸術文化との接点を持ち、その伝達を担う人材として巣立っていただきたいと願っています。芸術文化に関わる人が増えることで、社会的な存在感や役割も少しずつ広がっていくと信じています。

exercise 01

## 芸術研究学Ⅰ

### 視点を身につける

芸術研究の前提となる「芸術」および「作品」の概念とその成り立ちを理解し、造形を文化的・社会的な事象として研究するための視点を身につける、1年次の科目です。自身の鑑賞体験を、物(作品)・人(鑑賞者)・場(美術館)のという3つの観点をを用いて説明することを目指し、レポート課題に取り組みます。

exercise 02

## 芸術研究リサーチ

### 手法を学ぶ

造形文化における研究やライティングに必要な文献・Web情報の探索と活用方法、現地調査やインタビューの手法などを学ぶ、1年次の科目です。情報収集能力の向上と、集めた情報を編集・加工・引用して論文などの自己表現に活かせるスキルの獲得を目標に、メディア授業形式で学びます。

exercise 03

## 芸術研究特殊講義Ⅰ

### 造形に関する事象を観察する

造形に関する特定テーマに基づいて受講者が調査した内容を報告して共有し、意見交換を通してテーマに関する情報と知見を蓄積する、1年次の科目です。造形に関する事象を所定の形式にそって観察し、他者に共有可能なかたちで情報提供することを目指し、メディア授業形式で学びます。

exercise 04

## ミュゼオロジーⅠ

### ミュゼオロジーの概念を理解する

「ミュゼオロジー(博物館学)」の概念を理解し、博物館の成立から現在までの展開、博物館の定義と分類、博物館と展覧会との関係、博物館における資料区分や保存と公開、現代の博物館の動向、博物館の活動などについて、美術館の事例を中心として学ぶ、3年次の科目です。



ARAI Hina

新井 雛

概要

本稿では、米製作映画『アラバマ物語』(To Kill a Mockingbird, 1962)における主人公描写を映像表現から分析する。ハーパー・リー(Nelle Harper Lee, 1926-2016)の『To Kill a Mockingbird』(1960)を映像化した本作にて、主人公がどのように描写されているのかを映像分析から詳らかにすることが本稿の目的である。まず、『アラバマ物語』の全体の構成と劇中での三幕構成を確認し、幕毎の主人公の基本的な描写のされ方について概観する。次に、全体を通した展開および幕毎の描写の差異に着目し、そこから見えてくる主人公描写についてプロット毎に検討する。特に、主人公は三幕構成に従って変化しながら描かれているという映像作品に特徴的な点に着目し、主人公の劇中での描かれ方とその変化について分析を行う。そして、本作での主人公描写にはプロット毎に差異があり、二重性をもって描写されているという点を考察する。最終的に『アラバマ物語』の主人公は、弁護士描写と父親描写との二重性をもって描かれているという結論を提示する。

教員コメント

映画《アラバマ物語》は人種差別を批判的に描いた法廷ドラマとして評価されているが、著者は映像分析によって、主人公フィンチの描写を軸とした作品構造の探究に取り組んだ。画面上の「左／右」に展開上の「プラス／マイナス」、「昼と夜(明と暗)」が重ねられ、映像表現の重層性が解明されている。公(弁護士)よりも私(父親・人間)の在り方が最終的に大切だという含意が本作品の魅力でもあることに、あらためて気づかされる。

(芸術文化学科芸術研究コース 教授 金子伸二)

映画『アラバマ物語』の主人公描写における対の[弁護士/父親]描写とその二重性  
— 映像表現に見るフィンチの変化とmockingbirdの生死—

2024年度卒業研究

〈目次〉

概要

序論

第1章 映画『アラバマ物語』の全体構成と主人公描写における基本事項

1. 作品および全体構成について  
— 本作における2つのプロットと三幕構成
2. 三幕構成における基本的な主人公描写  
— 劇中で変化する主人公 / フィンチの場合

第2章 映像表現から見るフィンチの描かれ方

- 全体の展開および幕毎の描写の分析
1. 主人公描写における原作との相違 — 脚色としての省略
  2. 位置関係 / 進行方向における逆転の構図  
(1) 位置関係の逆転 — 空間上の逆転に伴う  
登場人物の立場・境遇の逆転  
(2) 進行方向の逆転
  3. 俳優の立ち位置と視線の変化  
(1) 父親描写の場合  
(2) 弁護士描写の場合
  4. 時間的演出と照明 — 昼夜の演出と主人公描写  
(1) 父親描写の場合  
(2) 弁護士描写の場合

第3章 フィンチの二重性 — 弁護士 / 父親描写の構造

1. 劇中におけるmockingbirdと4つのキーワード  
(1) 劇中のシンボルとしてのmockingbird  
(2) 劇中における4つのキーワード
2. 映画におけるキャラクター・チェンジ  
— 2つのsin / guilt とフィンチの変化  
(1) 2つのプロットにおけるキャラクター・チェンジ  
(2) マイナス方向へ終結していく主人公描写 — 弁護士描写の場合  
(3) プラス方向へ終結していく主人公描写 — 父親描写の場合
3. mockingbirdの生死とフィンチの二重性の描写

結論

引用・注釈

参考文献

## 〈目次〉

## 概要

## 3 章 12枚の詳細分析

## 序論

## 4 章 画面構成力と写真の強度

## 1 節 研究の背景・目的

## 2 節 研究に用いる資料・方法

## 結論

## 1 節 成果と得られた知見

## 2 節 今後の課題

## 1 章 93枚の写真分析

## 1 節 繰り返される被写体

## 2 節 選ばれた色

## 3 節 フレーミング

## 4 節 構図

## 研究対象文献・参考文献・参考DVD

## 註(参考文献・参考サイト)

## ソール・ライターの言葉 出典

## 写真用語

## 2 章 構成要素と撮影スタイル

## 1 節 構成要素

## 2 節 撮影スタイル

## 概要

ソール・ライターは当時(1950年代～)モノクロ写真が主流だった時代にニューヨークのストリート、主に自宅周辺をカラー写真で撮り続けた。その色彩感覚が評価され今日では「カラー写真のパイオニア」と言われる。本論文では、その色彩も含めた「画面構成力」の高さを考察する事によってライターの写真には写真集や写真展における写真群の評価ではなく一枚一枚それぞれに内在する強さがありライターの写真の魅力が一過性のものではない事を明らかにしていく。具体的には、写真集『Early Color』、図録『Saul Leiter(2012年)』の2冊から93枚を研究対象とし被写体・構成要素・撮影スタイルを分析、さらにそれらを踏まえ93枚の中から特に

特徴が表れ、ライターらしい写真表現がされていると思われる12枚を選び再分析する事により「画面構成力」を引き出した。

その結果、ライターは見たままをストレートに写すのではなくカメラという媒体の特性を活かしながら独自の視点と技術を通して画面を構成し、人間の目で見るとは違う世界を撮影している事がわかった。そしてその画面構成力は、写真独自の遠近感、静と動、時間経過、異なる世界の混在、遮断された空間、不可思議性などを生み出し、それらが「強度」となって鑑賞者は一枚一枚に想像力を掻き立てられ、惹きつけられ続けるのではないかと結論づけた。

## 教員コメント

色彩のもたらす印象が多く語られるライターの作品に対して、1点1点の被写体やフレーミングと構図、画面の諸要素を仔細に点検することで、表現の幅と傾向を具体的に把握した研究。著者の関心が常に「どのように撮影されたことで画面が成立したか」「ライターの興味がどこにあったか」に向けられ、高い発見性につながっている。作品に内在する「画面構成力」と鑑賞者の反応に関わる「写真の強度」との関係が理解できる成果である。

(芸術文化学科芸術研究コース 教授 金子伸二)



## 芸術文化学科「芸術研究コース」の履修モデル

### 1年次

|               |       |                                        |
|---------------|-------|----------------------------------------|
| 文化総合科目から自由に選択 | 15 単位 | 授業形態の内訳                                |
| 造形総合科目から自由に選択 | 10 単位 |                                        |
| 学科別専門科目       | 5 単位  | 通信授業 20 単位<br>面接授業 3 単位<br>メディア授業 7 単位 |
| 必修科目          |       |                                        |
| 芸術研究学Ⅰ        | (2単位) |                                        |
| 芸術研究リサーチ      | (2単位) |                                        |
| 芸術研究特殊講義Ⅰ     | (1単位) |                                        |
| 合計 30 単位      |       |                                        |

### 2年次

|               |       |                                        |
|---------------|-------|----------------------------------------|
| 文化総合科目から自由に選択 | 13 単位 | 授業形態の内訳                                |
| 造形総合科目から自由に選択 | 14 単位 |                                        |
| 学科別専門科目       | 5 単位  | 通信授業 23 単位<br>面接授業 6 単位<br>メディア授業 3 単位 |
| 必修科目          |       |                                        |
| 芸術研究学Ⅱ        | (2単位) |                                        |
| 芸術研究コンセプト     | (2単位) |                                        |
| 芸術研究特殊講義Ⅱ     | (1単位) |                                        |
| 合計 32 単位      |       |                                        |

### 3年次

|               |           |                                        |
|---------------|-----------|----------------------------------------|
| 文化総合科目から自由に選択 | 14 単位     | 授業形態の内訳                                |
| 造形総合科目から自由に選択 | 8 単位      |                                        |
| 学科別専門科目       | 9 単位      | 通信授業 25 単位<br>面接授業 1 単位<br>メディア授業 5 単位 |
| 必修科目          |           |                                        |
| 芸術研究学Ⅲ        | (2単位)     |                                        |
| 芸術研究ライティング    | (2単位)     |                                        |
| 芸術研究特殊講義Ⅲ     | (1単位)     |                                        |
| 卒業研究Ⅰ         | (2単位)     |                                        |
| 選択必修科目        | ミューゼオロジーⅠ | (2単位)                                  |
| 合計 31 単位      |           |                                        |

### 4年次

|               |           |                           |
|---------------|-----------|---------------------------|
| 文化総合科目から自由に選択 | 12 単位     | 授業形態の内訳                   |
| 造形総合科目から自由に選択 | 8 単位      |                           |
| 学科別専門科目       | 11 単位     | 通信授業 26 単位<br>メディア授業 5 単位 |
| 必修科目          |           |                           |
| 芸術研究学Ⅳ        | (2単位)     |                           |
| 芸術研究特殊講義Ⅳ     | (1単位)     |                           |
| 卒業研究Ⅱ         | (2単位)     |                           |
| 卒業研究Ⅲ         | (2単位)     |                           |
| 選択必修科目        | ミューゼオロジーⅡ | (4単位)                     |
| 合計 31 単位      |           |                           |

※授業形態の内訳はあくまで目安です

## 芸術研究コースの学科別専門科目一覧

| 単位数 | 通信授業 | 面接授業 | メディア授業 |                   |
|-----|------|------|--------|-------------------|
| 2   |      |      |        | 芸術研究学Ⅰ            |
|     |      | 2    |        | 芸術研究リサーチ          |
|     |      | 1    |        | 芸術研究特殊講義Ⅰ         |
| 2   |      |      |        | 芸術研究学Ⅱ            |
|     |      | 2    |        | 芸術研究コンセプト         |
|     |      | 1    |        | 芸術研究特殊講義Ⅱ         |
| 2   |      |      |        | 芸術研究学Ⅲ            |
|     |      | 2    |        | 芸術研究ライティング        |
|     |      | 1    |        | 芸術研究特殊講義Ⅲ         |
|     |      | 2    |        | 卒業研究Ⅰ             |
| 2   |      |      |        | 芸術研究学Ⅳ            |
|     |      | 1    |        | 芸術研究特殊講義Ⅳ         |
|     |      | 2    |        | 卒業研究Ⅱ             |
|     |      | 2    |        | 卒業研究Ⅲ             |
| 1   | 1    |      |        | ミューゼオロジーⅠ         |
| 2   |      |      |        | メディア論             |
| 1   | 1    |      |        | 生涯学習概論            |
| 4   |      |      |        | ミューゼオロジーⅡ         |
| 2   |      |      |        | 博物館資料保存論          |
| 2   |      |      |        | 博物館展示論            |
| 2   |      |      |        | 博物館教育論            |
| 1   | 2    |      |        | 博物館実習(学芸員課程履修者のみ) |

### 必修科目

必修科目は、芸術研究の理論を学ぶ「芸術研究学」と、研究の方法を学ぶ「芸術研究リサーチ」「芸術研究コンセプト」「芸術研究ライティング」、特定テーマによるゼミナールの「芸術研究特殊講義」によって構成されています。3年次からは、自分の研究テーマを設定して研究報告書を作成する「卒業研究」に取り組みます。

### 選択必修科目

3～4年次の選択必修科目は、「博物館に関する科目」7科目から選択し、合計6単位以上を修得します。

### 編入学生の場合

文化総合科目や造形総合科目は大幅な単位認定がされるため、学科別専門科目に集中して取り組むことができます。

ただし、文化総合科目の美術の理論や歴史に関する科目は、卒業研究につながる多角的な視点が身に付けられるほか、造形総合科目ではさまざまな造形の技法や材料を体験することで、作品や作者を深く理解する土台が築かれるため積極的な履修を推奨しています。

具体的な履修モデルは入学時に配布する履修ガイドブックに記載があります。

詳細はWebシラバス(学2課程)をご覧ください

ムサビ通信 シラバス





Department of Design Informatics  
**Synthetic Design Course**

デザイン情報学科

# デザイン総合コース

専門分化された各領域を一つのデザインとして捉え直し、  
「情報」「環境」「社会」を3つの大きな柱として、  
それぞれの専門領域を横断的に学びます。





# デザイン領域を「横断」しながら、未来を切り開く

## 社会の不確実性と普遍的なデザイン

近年、デザイン業界では、社会課題の複雑化やメディアの多様化に伴い、より広い視野と柔軟な思考が求められるようになってきました。さらに、AIをはじめとするテクノロジーの進化により、これまでの方法論が大きく変わろうとしています。

例えば、駅で見かけるポスターや電車広告といった、これまで静的だったメディアはデジタルサイネージへと置き換えられ、動画や時間軸も含めた設計を求められるようになりました。

こうした変化の中で、一つの専門領域にとどまらず、複数のデザイン領域を横断し

ながら、多様なアプローチで社会に提案できる人材が求められています。

デザイン総合コースは、「平面」「空間」「立体」といった造形カテゴリーを分けて学ぶ従来の専門教育ではなく、これらを包括的に捉え、総合的にデザインを学ぶことで、新しいデザイン領域を切り拓く人材を育てたいと考えています。

今では一般的となったUI/UXデザインや

Webデザインといった領域も、30年前には存在しませんでした。領域は時代の変化と共に拡大していきますが、その根底にある「デザイン」という考え方には普遍的なものがあります。問題を探し、「より良くする」という思考のプロセスはどの領域にも共通して求められるからです。デザインを学び、未来に対する可能性を広げることが私たちの目的です。

## デザインの真の専門性を学ぶ

「総合的」と聞くと専門性が低く、広く浅く学ぶと感じる人もいるかもしれません。しかしながら、私たちは美術大学として、丁寧に造形の基礎から学んでいきます。そして、3、4年次の科目ではそれぞれのデザイン領域の専門的な科目を学ぶことができます。

私たちはデザインの力の根底には「考えるための造形力」が必要だと考えています。例えば、「デッサン」のような造形トレーニングは描く技術であると同時に、モノの見方を鍛える、いわば、ユーザ観察のトレーニングでもあります。また、デザインプロセスの中で必要とされる「プロトタイピング（試作品の制作）」は単なる制作プロセスではなく、それ自体が思考することに他なりません。これらは基礎的な造形力がなければ成立しません。

デザイン総合コースのカリキュラムは、選択科目「造形基礎」「デジタル造形基礎」「デザイン基礎」などを通して、基礎的な造形力を身につけます。並行して、必修科目「デザイン論」で

### 従来のデザイン教育の考え方

従来のデザイン教育では造形カテゴリーを分け、それぞれ専門的な領域でデザイン学んでいた



は、第一線で活躍するデザイナーや周辺領域の専門家による講義を通じて、現代のデザインが社会とどう関わっているかを学びます。様々な領域の専門科目がありますが、自由に選択することが可能です。

ここまでデザインの話をしてきましたが、本コースの学びは、さまざまな職業や年代の方にとって有益のあるものだと考えます。なぜなら、日々の仕事や暮らしの中にも、デザインの視点が活かされる場面は多くあるからです。むしろ、各自が持つ専門性にデザインの考え方が加わることで、新たな価値や可能性が生まれることもあるでしょう。実際、デザインを学んだ経験がきっかけとなって、新規事業に関わるようになった卒業生もいます。

デザインを通して自分の視野を広げ、未来を切り拓いていきたい。そう考えている方にこそ、このコースをおすすめします。

## 普遍的な「デザイン」の考え方



## デザイン情報学科[デザイン総合コース]卒業制作

Graduation Works

YAMAGISHI Aiko

山嵜 愛子

### 永字八体 書道で見つけた文字の立体感

2024年度卒業制作

#### 教員コメント

長年、書道を嗜んできた作者は、書を見ると立体的で奥行きのある文字に見えるという。それは決して作者の勝手なイメージではない。書道において、紙の上に定着された文字は一つの断片であり、その裏には筆の運び方や、身体の所作がある。

作者だからこそ読み取ることができる書の構造は、三次元のモデルにすることで、私たちも書き手の身体性を感じることができる。書道の深みを多くの人に理解できるように再構成した秀作である。

(デザイン情報学科デザイン総合コース 教授 清水恒平)



## 佐々木 あゆみ

## 機内マナーのしおり

2024年度卒業制作

## 教員コメント

作者の客室乗務員としての経験から、実際に出会った乗客をモデルに30体のキャラクターを制作した。座席ポケットの「安全のしおり」をモチーフに、機内での迷惑な振る舞いを離陸から着陸までの時間軸で紹介。そのうち10体を選び制作したアニメーションでは、想像を超えたエピソードが登場する。実体験が伴ったマナー啓発は社会人学生ならではの。こんな客がいるんだと驚く反面、誰もがこのキャラクターになり得ることを、楽しみながら戒めとして感じさせることに成功している。

(デザイン情報学科デザイン総合コース 教授 上原幸子)



C.T.

## C.T.

## たらふくおにぎり

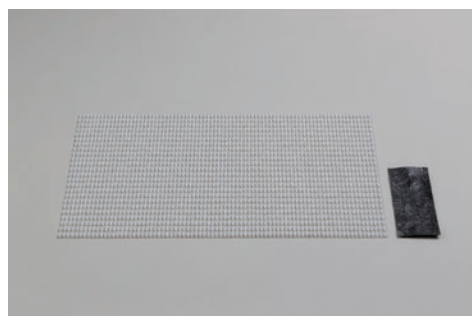
2024年度卒業制作

## 教員コメント

近年、日本の「笑い」は先鋭化、多様化が進んでいる。そうした多彩な「笑い」を作者は日本の伝統的な食である「おにぎり」で表現した。井山弘幸著『笑いの方程式』におけるカテゴリー分けを参考に、古典的な言葉の取違いによる笑いから、現代的でシュールな笑いまで、奇想天外なアイデ

アと圧倒的な造形力でおにぎりを制作し、「笑い」をこれまでにない切り口で解釈・表現している。この作品を鑑賞していると、精一杯ボケるおにぎりたちに思わず笑みがこぼれ、ツッコミを入れたいことだろう。

(デザイン情報学科デザイン総合コース 教授 福井政弘)







各種SNSでも  
ムサビ通信について  
発信しています。

YouTube



3分でわかる  
《ムサビ通信》の学び方

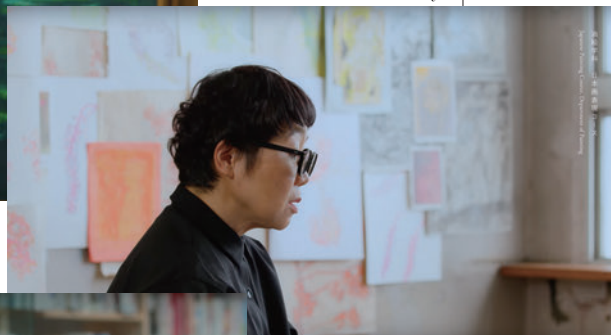
「描き方」を教わるのではなく、  
問題に直面したら、  
それをどう解決するか、  
「考えること」が大切です

日本画表現コース

YOSHIKAWA Tamihito  
Painting Course



ADACHI Kei



MUROI Kayo

絵画表現コース

多様な表現と  
描く楽しさを知り、  
思考を深め、描きたいものと  
向き合いながら、学びます

Art Study Course

芸術文化を深く理解し、  
他者に伝えるための  
方法論を学びます



芸術研究コース

Synthetic Design Course

デザイン総合コース



SHIMIZU Kohai

領域を横断しながらデザインを学び、  
未来に対する可能性を広げます

LINEへの友達登録や、Instagramをフォローすると  
入学に関するお知らせ、説明会の開催アナウンス、スクーリングの様子など  
ムサビ通信に関する情報を随時チェックすることができます。







※一部資格がない場合もあります



とは言っても美術大学だしなあ…編入した後授業についていけるかな

キリガタメ!

基礎

大丈夫! 専門科目は基礎から学べるから安心して!

でも…

そもそも美術やデザインが通信でしっかり学べるのかも疑問なんだよね…

そんな美子にムサビ通信の大きな特徴を教えてあげよう!

まず、全国で最も長い歴史をもつ美術通信教育という点!

1951年から通信教育をやっているんだよ

そんなに昔から!?

そして…

培ったノウハウでしっかり学べるよ

実際にムサビで授業を受けられるスクーリング!!

今受講している人たちはこんな感じ

2025年度ムサビ通信学生のデータ

年齢

|        |       |
|--------|-------|
| 18-24歳 | 29.1% |
| 25-29歳 | 15.7% |
| 30-39歳 | 15.4% |
| 40-49歳 | 14.2% |
| 50-59歳 | 14.4% |
| 60歳以上  | 11.2% |

入学別

|        |       |
|--------|-------|
| 1年次入学  | 42.0% |
| 2年次編入学 | 9.9%  |
| 3年次編入学 | 41.2% |
| 再入学    | 6.9%  |

地域

|        |       |
|--------|-------|
| 関東     | 75.9% |
| 中部     | 8.5%  |
| 近畿     | 4.3%  |
| 中国・四国  | 2.1%  |
| 九州・沖縄  | 3.8%  |
| 北海道・東北 | 5.4%  |

最終学歴

|          |       |
|----------|-------|
| 高校卒      | 32.3% |
| 大学卒      | 27.0% |
| 大学院修了    | 4.7%  |
| 短大卒      | 8.1%  |
| 高専・専修学校卒 | 9.9%  |
| 大学中退     | 13.5% |
| 高認・その他   | 4.5%  |

職業

|           |       |
|-----------|-------|
| 会社員等      | 36.0% |
| 主婦無職等     | 33.9% |
| アルバイト・パート | 20.1% |
| 自営自由業     | 10.0% |

2025年5月現在で2,971名の学生が学んでいる!

実際に大学に行けるんだね!

本当にいろんな世代がいる!

励ましあえる友達もできそう!

1人だと大変なことも、仲間と分かち合えば頑張れるよね

ムサビ通信はね…

即効的な手先のスキルではなく、

「考え方」「作るプロセス」「多角的な視点を持つ」といったことを大切にするカリキュラムなんだ!

私が不安だった“根本の力”を…

ムサビ通信は鍛えてくれるってこと…!?

その夜私はムサビ通信への入学を決心したのでした

美子んちサバ缶ある?



Q1

美術・デザインが未経験でも  
入学ができますか？

はい。書類による選考のみで美術・デザインの経験は問いません。未経験の方も多く学んでおり、幅広い方にムサビの美術教育の門戸を開いています。

美術・デザインが未経験でも  
学習についていけますか？

Q2

未経験の方を想定したカリキュラムとなっており、**ご安心ください**。学科別専門科目は基礎の科目から履修することになります。その上で、基礎的なことに自信がない方は、造形総合科目から造形の基礎を学ぶことをおすすめします。

Q &amp;

A

Q3

どんな人が学んでいますか？

美術・デザインの素養を身に付けたい、さらに磨きたい方、教養として学びたい方、資格取得やリスキング、生涯学習など、**幅広い方がさまざまな目的をもって学んでいます**。また、約半数以上の方が仕事をしながら学んでいます。

1

相談会でよくある質問をまとめました

3年次編入学の資格はありますが、  
未経験の場合は1年次入学が  
望ましいですか？

**3年次編入学を推奨しています**。認定する62単位には学科別専門科目は含まみませんので、いずれにしても基礎の科目から履修することになります。詳細はP.12をご確認ください。また、3年次編入学の場合でも最大6年間の在学が可能です。

Q4

資格を取得することは  
できますか？

Q5

はい。「**中学校1種(美術)・高等学校1種(美術・工芸)教員免許状**」と、「**学芸員資格**」をそれぞれの資格課程を履修することで取得ができます。詳細はP.51をご確認ください。

スクーリングは  
どれくらい必要ですか？

**学科と入学年次、学習目的などによって異なります**。4年間で卒業を目指す場合には油絵学科で年間20～30日間程度、芸術文化学科とデザイン情報学科で年間10～20日間は必要になるでしょう。3年次編入学の場合、必修のスクーリング科目がない芸術文化学科ではスクーリングなしでの卒業も可能です。

Q6

4年間で卒業することは  
難しいですか？

入学目的や、学習に使える時間が学生により異なるため一概にはお答えできませんが、**少なくとも簡単ではないと言えます**。自宅学習が中心となりますので、学習計画を立てることや、モチベーションの維持が大切です。

Q7

入学前にしておくべきことは  
ありますか？

Q8

**特にありません**。画材などの用語を知っておくとも入口はスムーズかもしれませんが、身構えることなく学習をスタートしましょう。初學者の方は、まずは造形総合科目で造形の基礎から着実に学ぶことをおすすめします。

# Course Subjects

## 授業科目



充実した授業科目から、  
高い専門性と幅広い教養を  
総合的に身につける。



# 文化総合科目

幅広い文化・教養と理論を学び、  
さまざまな学問分野と造形をつなぐ科目群。

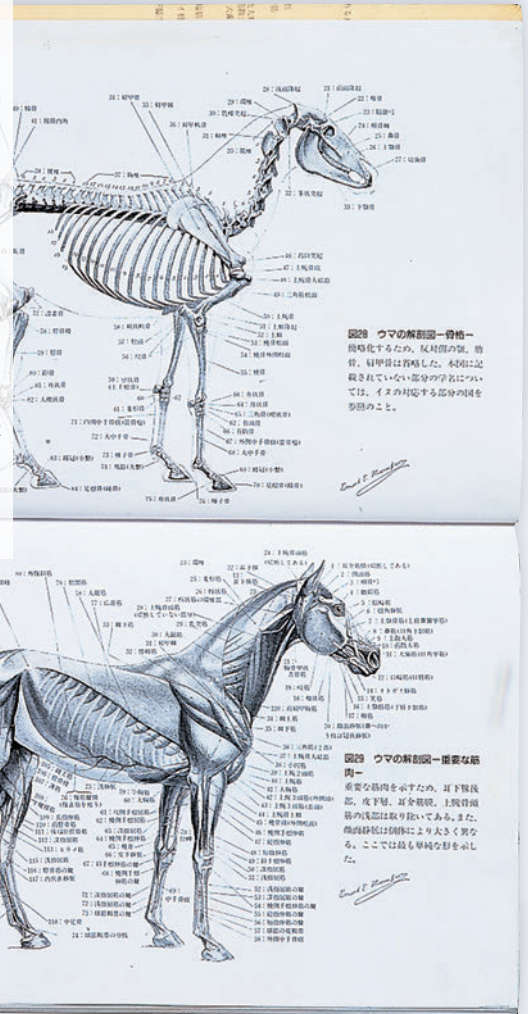
芸術や造形について理解を深めるためには、文化に対して広く関心を持ち、教養を身に  
つけることが重要です。文化総合科目には、人文・社会、自然という諸学問分野の基礎的、  
応用的授業科目があり、それぞれの興味に合った科目を選択して履修することができます。  
また、美術系通信教育に必要なスキルを学んだり、創造の基礎力をつけるための科目  
なども設置されています。

Pick up 1

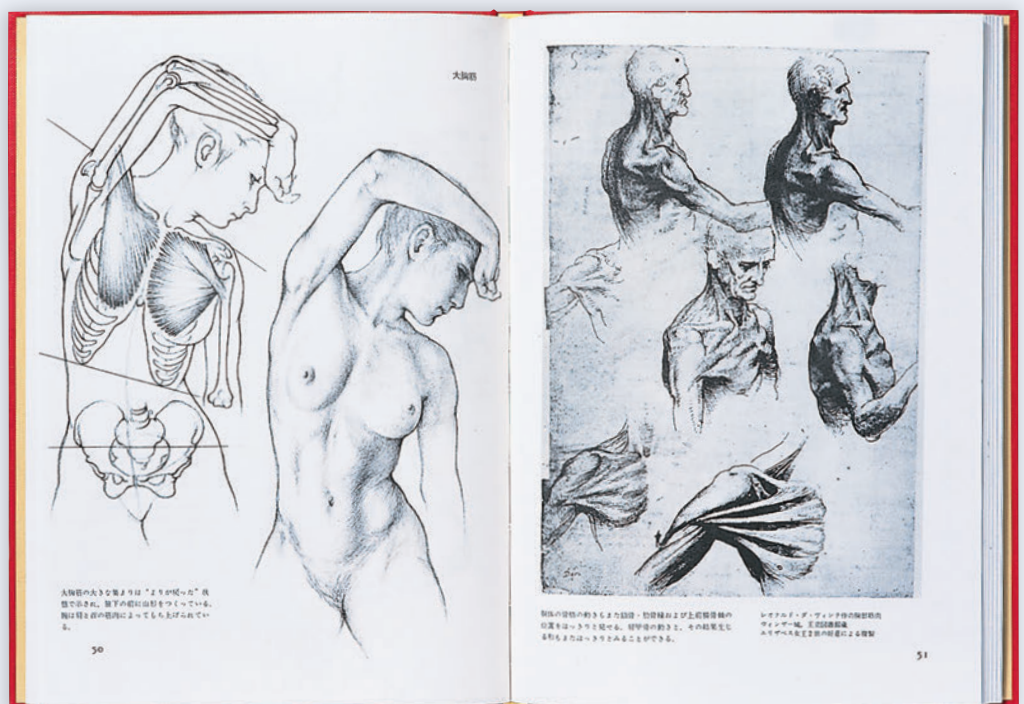
## 美術解剖学

ヒトや動物の内部構造を知り、  
立体として捉える

「美術解剖学」では、ヒトや他の動物の体の中にある骨格や筋肉について学びます。体の内部構造に関する知識は、体表に現れるレリーフを意味のある「かたち」として認識するための助けとなるものです。ただアウトラインを追うだけの観察ではなく、立体としての形態やバランスを把握する力を養成していきます。また、実際に造形作品を作成する際に、何を表現し何を省くかを、自分で選択できる目を養うことを目標とします。



参考文献、アーネスト・H・シートン『美術のためのシートン動物解剖図』(上野安子訳、マール社)



教科書、ルイーズ・ゴードン『人体解剖と描写法』(上昭二訳、ダヴィッド社)

## 著作権法

### 「表現」に関わる法律を具体的に学ぶ

この授業では、表現に携わる者が知っておくべき権利やルールを学びます。具体的には、憲法21条「表現の自由」と、これに関連する法律、また、著作権法をはじめとする知的財産権の分野の法律です。

法律について学習するためには、自分をとりまく社会を、問題意識をもって見るのが出発点となります。そしてその問題意識を、私たちに保障されたさまざまな「権利」や、民主的な制度や理念（公共性）と関連づけて考えることが必要です。具体的な問題について思考し、その実践を目指します。

## 西洋美術史Ⅰ・Ⅱ

### 西洋美術の移り変わりを多角的に理解する

古今の美術作品に触れ、さまざまな文化と造形表現、創造のありように対する理解を深めることを目的とした科目です。「西洋美術史Ⅰ」では、紀元前4千年紀から15世紀までの古代～中世の美術について取り扱

い、西洋文明の伝統がいかにして形成されてゆかかを考えます。「西洋美術史Ⅱ」では、ルネサンスから現代に至る美術の歴史を学びます。また、他にも「日本美術史」「東洋美術史」「建築史」「デザイン史」「演劇史」など、造形表現の歴史を学ぶための充実した科目が開講されています。

事を運ぶことも分かる。

神殿の本尊を安置した神室上方をめぐる祭状空間。つまりフリーズは、女神アテナに捧げられた祝祭の行列を表している。現存するフリーズの約3分の2が大英博物館に展示されているが、行列は西側の隅から始まり、北フリーズと南フリーズに分かれて運動感あふれる騎馬隊や戦車行列が続く。貴族隊や犠牲者を引く一群を経て、東面の中央で祭礼の行列が合流する。たとえば南フリーズの戦車行列（図30）を見ると、わずか6cmの厚みに馬4頭が並列し、疾駆する戦車と兵士に身を固めた戦士の息づまるような瞬間が活写される。また西フリーズの騎手（図31）でも、骨格や筋肉の描写はゆるぎなく、ギリシャ彫刻が到達した造形表現の妙味が見てとれる。それはマンネリ化した冷たい表現ではなく、

いだらうか。

#### ●クラシック復興とヘレニズム

紀元前4世紀は、クラシック復興と呼ばれ、パルテノンを中心とするクラシック復興の芸術を模した点で顕著しているが、内容の点では、ヘレニズム時代の特徴と共通点が多い。以下、ヘレニズム時代の特徴と合わせて、考えてみよう。

ヘレニズム時代は、一般にアレキサンドロス大王の死（前323年）から、ローマの東方地中海制覇（前146年）までの約300年間を指す。ギリシャ世界が東はインドに至る広大な地域を含むようになり、東西の文化交流が盛んになった。アレキサンドロス大王の後継者たちの、ヘレニズムの君主国が繁栄し、アレキサンドリアなどの国際都市



24 リンコンゴス「アレキサンドロス大王の肖像」(紀元前2世紀) ベルギー出土。考古学博物館、イスタンブール

25 「オレコ」(紀元前1世紀) 大英博物館、ロンドン

26 ヘルメス像(紀元前1世紀) フィレンツェ出土。フィレンツェ美術館、フィレンツェ

27 「アポロ」(紀元前1世紀) フィレンツェ出土。フィレンツェ美術館、フィレンツェ

4・古代ギリシア 29



6 ギリシア「イサカスの神像」パルジニョ美術館、フィレンツェ

7 フラタレス「イサカスの神像」パルジニョ美術館、フィレンツェ

8 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

9 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

10 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

11 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

12 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

13 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

14 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

15 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

16 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

17 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

18 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

19 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

20 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

21 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

22 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

23 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

24 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

25 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

26 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

27 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

28 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

29 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

30 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

31 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

32 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

33 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

34 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

35 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

36 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

37 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

38 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

39 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

40 ギリシア「イサカスの神像」フィレンツェ美術館、フィレンツェ

ことになる。そして出発点において中世末期のゴシック様式で制作されていたギベルティは、のちに後世に与えた新たなルネサンス様式をもつ、遠近法を使用したミニマな空間表現を見せる「イサカスの神像」のレリーフのごとき境地にまで達した(図30)。

さてそのギベルティに影響を与えることになるのが、彼の工房に所属していたこともある年下のドナテッロ(1386-1466)であった。14世紀のビザンティン美術の作品のなかにも古代彫刻的なものが見られるとはいえ、本格的にルネサンス彫刻を生み出したのはドナテッロその人である。ドナテッロはブルネッレスキとともにローマを学び、古代彫刻の本質であるリアリズムを学び、中世の教会において聖像として用いられていたものの多岐にわたる彫刻として復活を遂げる。

ドナテッロは、初期のオルサン(カール聖堂)のための「聖ゲオルギウス」において、早くも空々たる空間に彫刻を有する彫刻彫刻を確立している。この作品の基壇部分にはスキッツォ(素描)で「聖ゲオルギウスの退治」が表され、その背景には遠近法を用いて刻まれた建築物が、画面に奥行きを導入している。大聖堂彫刻のための「ハバタ」においては更なる写実性を追求し、それは表現された人物の精神性をも獲得するに至っている(図4)。ゴッダによる「ダヴィッド」像では、聖書の登場人物が古代に求められて表現され、また彼は古代彫刻的なコントラストのポーズ(片足に体重をかけることによって緩やかなS字曲線が生



9 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

10 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

11 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

12 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

13 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

14 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

15 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

16 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

17 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

18 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

19 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

20 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

21 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

22 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

23 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

24 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

25 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

26 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

27 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

28 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

29 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

30 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

31 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

32 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

33 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

34 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

35 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

36 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

37 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

38 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

39 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

40 ドナテッロ「リベラ」(大聖堂彫刻) フィレンツェ

## 色彩学

### 「色とは何か」という問いへの理解を深める

色彩学は英語では「Science of Color」といい、光学や生理学、心理学などの学問と深い関わりを持ちます。色は感覚や経験で身につくものと捉えてしまわれがちですが、「色とは何だろう?」という疑問に答えられる人はきわめて少ないでしょう。色彩学では、この疑問に答えるため

に必要なさまざまな知識を学びます。例えば、「色は光である」「色は目ではなく脳で見るものである」「色は情報である」「色は数式で表せる」「色は感情を操る」など。教科書を精読し、4つの課題を通して、自分の目と手足を使いながら確かめていくことで、色に対する理解を深めていきます。



# 造形総合科目

より豊かな専門学習のため  
造形の基礎や総合力を身につける科目群。

コースごとの専門的な学習を進めていくためには、まず基礎的な造形力を身につける必要があります。造形総合科目には、各自が専攻する美術・デザインのジャンルを問わず、あらゆる造形分野につながる基本的な能力を獲得するための科目が設置されています。造形の基盤となる「造形基礎Ⅰ」や「造形基礎Ⅱ」のほか、工芸のさまざまな素材に触れる実習科目、製図やタイポグラフィ、コンピュータによる表現など、たくさん科目がラインアップされています。専攻するジャンルに限らず興味を広げ、多様な経験をするこ

とは、より豊かな表現の可能性へと繋がるでしょう。

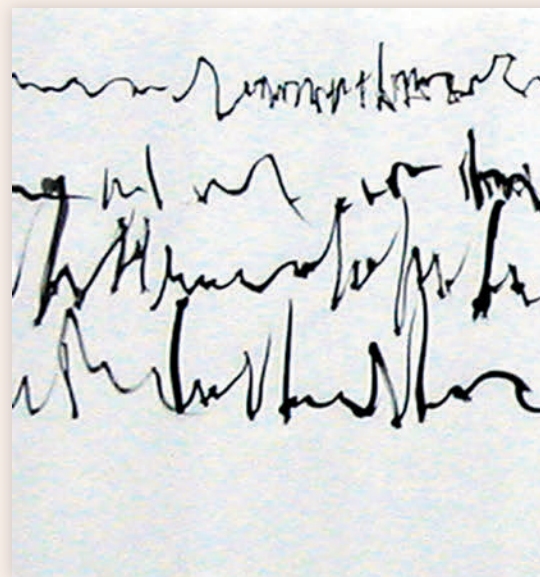
Pick up 1

## 造形基礎Ⅰ・Ⅱ

描き、創り出す、  
造形表現の基礎をつくる

ムサビ通信の「造形基礎」は造形における基礎教育の在り方を、あらためて造形の根本に立ち返り、「学科や領域を超えて共通して実践できる造形の基礎」という考えからつぎつめた結果、生み出されたカリキュラムです。「造形基礎Ⅰ」では、線を引く、絵を描く、色を塗る、という手や身体を使った本来の行為を発揮して、身体性を活かしたドローイングや感情表現につながる色彩体験を具体的に学びます。

「造形基礎Ⅱ」では、観察と描写、つまり具体的な対象を目の前にし、見て描くことを行います。一般通念的な先入観を持たないように意識し、見えている像と描いている像を出来る限り近づける過程を通じて、現在の自分がどのように対象を見ているかを確認してみることがこの課題の目的です。



造形基礎Ⅰ [手と身体/ドローイング]  
通信授業課題3: 音楽を聴きながら帯状の紙にドローイングする



造形基礎Ⅱ B [観察と描写]  
面接授業課題: 丸太を描く

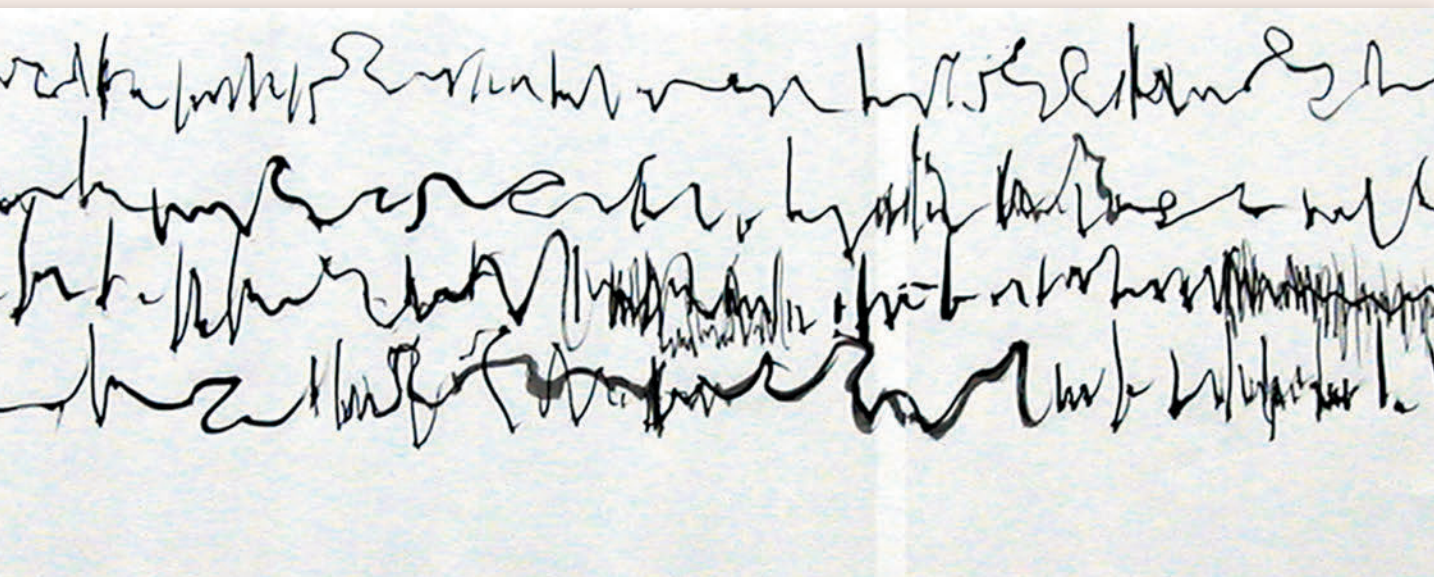
Pick up 2

## 絵画研究(古典技法)

さまざまな技法に触れ、  
造形表現の広がり学ぶ

造形総合科目の中には、古典絵画の技法を学ぶことができる科目を用意しています。スクーリング科目の「絵画研究ⅠB」「絵画研究Ⅲ」では、西洋中世からルネサンス期に至るまでの主要な絵画技法であったテンペラ画、古典技法のフレスコ、モザイクや、中世ゴシック期に花開いたステンドグラスの4つの表現技法から1つを選択して制作を行います。実習を通して単なる技法の習得に止まらない、素材と表現の在り方を通して造形表現の広がり学びます。





造形基礎IIA[観察と描写]  
通信授業課題:自分の「手」をデッサン、クロッキーする



造形基礎IIIA[色のレシビとハーモニー]  
通信授業課題:身の回りの素材を採取し色として再現し、色のハーモニーを発見する

Pick up 3

## 造形基礎III・IV

### 色彩、形、空間。デザインの造形基礎を理解する

「造形基礎III・IV」では、色や形、空間など、デザインに欠かせない造形感覚を養います。「造形基礎III」は、デザインに必要な、色と形の修練に取り組みます。良い色彩感覚を養うために必要なことは、センスを磨くことではありません。新しい色や対比の

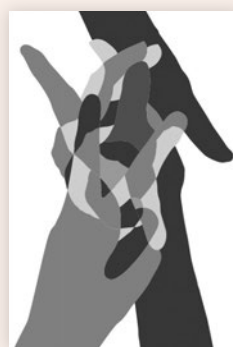
発見、色の仕組みを理解することです。また形の構成を考えることによって美しい形を発見できるのです。

「造形基礎IV」では、立体を空間に構成し、光を照射することで生まれる空間のさまざまな表情を観察し記録します。立体と空間、光と影、そこから生まれる豊かな空間の表情を探ることは、ものと空間の関係を考察することにつながります。

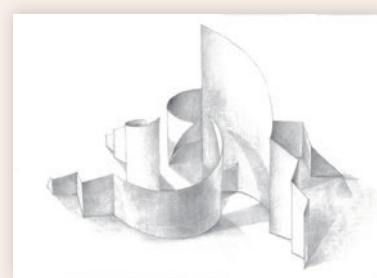


造形基礎IIIB[形の構成]

面接授業課題:手の写真を元に形を簡化しながら、形の構成を考える



造形基礎IV[紙の造形・空間を描く]  
通信授業課題1:ケント紙をカットして紙の造形を制作する



造形基礎IV[紙の造形・空間を描く]  
通信授業課題2:課題1で制作した紙の造形をスケッチ。最も良いと思われるものをデッサンする

完成したデッサン



★は科目試験を実施する授業科目

単位数  
通信授業  
面接授業  
メディア授業

## 文化総合科目 一覧

|   |   |              |
|---|---|--------------|
|   | 1 | レポート入門Ⅰ      |
|   | 1 | レポート入門Ⅱ      |
|   | 1 | コンピュータリテラシーⅠ |
| 2 |   | コンピュータリテラシーⅡ |
|   | 1 | カメラリテラシー     |
|   | 1 | 美術入門         |
|   | 1 | デザイン入門       |
| 2 |   | 文学★          |
| 2 |   | 歴史学★         |
| 2 |   | 哲学★          |
| 2 |   | 社会学★         |
| 2 |   | 経済学★         |
| 2 |   | 憲法★          |
| 2 |   | 民俗学          |
| 2 |   | 心理学★         |
| 4 |   | 色彩学          |
| 2 |   | 著作権法★        |
| 4 |   | 音楽論★         |
| 2 |   | 数学★          |
| 2 |   | 生物学★         |
| 2 |   | 物理学★         |
| 2 |   | 自然科学概論★      |
| 2 |   | 英語Ⅰ★         |
| 2 |   | 英語Ⅱ★         |
| 2 |   | フランス語初級★     |
| 2 |   | フランス語中級★     |
| 2 |   | フランス語上級★     |
| 1 |   | 健康と身体運動文化Ⅰ   |
| 1 |   | 健康と身体運動文化Ⅱ   |
| 1 |   | 健康と身体運動文化Ⅲ   |
| 1 |   | 健康と身体運動文化Ⅳ   |
| 1 |   | 健康と体力研究      |
| 1 |   | 身体運動文化研究     |
| 2 |   | 美術の歴史と鑑賞★    |
| 2 |   | 日本美術史★       |
| 2 |   | 東洋美術史★       |
| 2 |   | 西洋美術史Ⅰ★      |
| 2 |   | 西洋美術史Ⅱ★      |
| 4 |   | 建築史★         |
| 2 |   | デザイン史★       |
| 2 |   | 演劇史★         |
| 2 |   | 民芸論★         |
| 2 |   | 美術論★         |
| 2 |   | 現代芸術論★       |

単位数  
通信授業  
面接授業  
メディア授業

|   |   |             |
|---|---|-------------|
| 2 |   | 工芸論★        |
| 4 |   | 映像文化論★      |
| 4 |   | デザインマネージメント |
| 4 |   | アートマネージメント  |
|   | 1 | 情報社会倫理論     |
|   | 1 | 情報職業論       |
| 4 |   | 演劇空間論★      |
| 4 |   | 工業技術概論      |
| 2 |   | 絵画空間論★      |
| 2 |   | 美術解剖学★      |
| 2 |   | 日本画材料学★     |
| 1 | 1 | ワークショップ研究Ⅰ  |
| 1 | 1 | ワークショップ研究Ⅱ  |
|   | 1 | 絵画表現材料      |
|   | 1 | 絵画表現材料研究    |
|   | 1 | 日本画表現入門     |
| 1 |   | デザイン論Ⅰ      |
|   | 1 | デザイン論Ⅱ      |
|   | 1 | デザイン論Ⅲ      |
| 2 |   | 編集論         |

単位数  
通信授業  
面接授業  
メディア授業

## 造形総合科目 一覧

|   |  |         |
|---|--|---------|
| 2 |  | デッサン A  |
| 2 |  | デッサン B  |
| 2 |  | デッサン表現  |
| 2 |  | 絵画研究Ⅰ A |
| 2 |  | 絵画研究Ⅰ B |
| 2 |  | 絵画研究Ⅱ A |
| 2 |  | 絵画研究Ⅱ B |
| 2 |  | 絵画研究Ⅲ   |
| 2 |  | 版表現Ⅰ    |
| 2 |  | 版表現Ⅱ    |
| 2 |  | 版表現Ⅲ    |
| 2 |  | 版表現Ⅳ    |
| 2 |  | 彫刻Ⅰ     |
| 2 |  | 彫刻Ⅱ     |
| 2 |  | 彫刻Ⅲ     |
| 2 |  | 彫刻Ⅳ     |
| 2 |  | 彫刻Ⅴ     |

単位数  
通信授業  
面接授業  
メディア授業

|   |   |             |
|---|---|-------------|
| 1 | 1 | 工芸Ⅰ         |
| 1 | 1 | 工芸Ⅱ         |
| 2 |   | ガラス基礎実習Ⅰ    |
| 2 |   | テキスタイル基礎実習Ⅰ |
| 2 |   | 金工基礎実習Ⅰ     |
| 2 |   | 陶磁基礎実習Ⅰ     |
| 2 |   | 木工基礎実習Ⅰ     |
| 2 |   | デザインⅠ       |
| 2 |   | デザインⅡ       |
| 2 |   | ブックバインディング  |
| 2 |   | 映像メディア表現Ⅰ   |
| 1 | 1 | 映像メディア表現Ⅱ   |
| 2 |   | レタリング       |
| 2 |   | タイポグラフィ     |
| 2 |   | イラストレーション   |
| 1 | 1 | 絵本          |
| 2 |   | パッケージデザイン   |
| 1 | 1 | ファッションデザイン  |
| 2 |   | 図法製図Ⅰ       |
| 1 | 1 | 図法製図Ⅱ       |
| 2 | 1 | マルチメディア基礎   |
|   | 1 | コンピュータ科学入門  |
| 2 |   | コンピュータ基礎Ⅱ   |
|   | 1 | デジタル        |
|   |   | ファブリケーション実習 |
| 2 |   | 造形基礎Ⅰ       |
| 1 |   | 造形基礎Ⅱ A     |
| 1 |   | 造形基礎Ⅱ B     |
| 1 |   | 造形基礎Ⅲ A     |
| 1 |   | 造形基礎Ⅲ B     |
| 2 |   | 造形基礎Ⅳ       |
| 1 |   | デジタル造形基礎Ⅰ   |
| 1 |   | デジタル造形基礎Ⅱ   |
| 2 |   | デザイン基礎Ⅰ A   |
| 2 |   | デザイン基礎Ⅰ B   |
| 2 |   | デザイン基礎Ⅱ A   |
|   | 2 | デザイン基礎Ⅱ B   |
| 2 |   | デザイン基礎Ⅲ A   |
|   | 2 | デザイン基礎Ⅲ B   |
| 2 |   | デザイン基礎Ⅳ A   |
|   | 2 | デザイン基礎Ⅳ B   |
|   | 2 | デザイン基礎Ⅴ B   |
|   | 1 | 写真表現        |

詳細はWebシラバス(学2課程)を  
ご覧ください

ムサビ通信 シラバス

# 資格課程

## 教職課程

専門領域に対する高度な知識、技能、感性を備えた「美術」および「工芸」の教員を養成。

学校教育に携わる教員を目指す学生に向けて用意されているのが教職課程です。履修条件を満たした上で、2年次以降に登録手続きを行い、必要な単位を修得することにより、「美術」「工芸」の教員免許状を取得することができます。現職教員が2種免許状から1種免許状へ上進したり、他教科の免許状を取得するための科目等履修生制度もあります。

取得可能な教員免許状

中学校教諭1種免許状(美術)

高等学校教諭1種免許状(美術)

高等学校教諭1種免許状(工芸)

## 学芸員課程

博物館・美術館の学芸員資格を得るための理論と実践に基づいた学習。

学芸員とは、博物館や美術館におかれる専門的職員です。博物館資料や作品の収集、保存、展示をはじめ、教育普及活動など関連した業務に広く携わることもあります。3年次以降に学芸員課程の履修登録手続きを行い、必要な科目を履修することにより、学芸員資格を取得することができます。

取得可能な資格

学芸員資格



### 教職に関する科目一覧

| 単位数 | 通信授業 | 面接授業 | メディア授業 |                |
|-----|------|------|--------|----------------|
| 2   |      |      |        | 美術教育法Ⅰ★        |
| 1   | 1    |      |        | 美術教育法Ⅱ         |
| 2   |      |      |        | 美術教育法Ⅲ★        |
| 1   | 1    |      |        | 美術教育法Ⅳ         |
| 2   |      |      |        | 工芸教育法Ⅰ★        |
| 1   | 1    |      |        | 工芸教育法Ⅱ         |
| 2   |      |      |        | 教育原理Ⅰ★         |
| 2   |      |      |        | 教師論★           |
| 2   |      |      |        | 教育原理Ⅱ★         |
| 2   |      |      |        | 教育心理学★         |
| 2   |      |      |        | 特別支援教育★        |
| 2   |      |      |        | 道德教育の理論と方法★    |
| 2   |      |      |        | 総合的な学習の時間の指導法★ |
| 2   |      |      |        | 特別活動の理論と方法★    |
| 1   | 1    |      |        | 教育方法(ICT活用を含む) |
| 2   |      |      |        | 生活指導の理論と方法★    |
| 2   |      |      |        | 教育相談論★         |
|     |      | 2    |        | 教育実習Ⅰ          |
|     |      | 2    |        | 教育実習Ⅱ          |
|     |      | 1    |        | 教育実践の理論と方法     |
| 1   | 1    |      |        | 教職実践演習(中・高)    |
| 1   | 1    |      |        | 介護等体験          |

\*この他に、定められた授業科目の単位を修得する必要があります。詳細は入学後にWebキャンパスの教職課程ガイドブック(PDF)にて確認してください。

\*編入学生の場合、初年度から教職課程を履修可能です。手続きの方法は学生募集要項を参照してください。

\*教職課程は3年間のカリキュラムを基本としています。

\*「教職に関する科目」は30単位を上限として、卒業所要単位に含めることができます。

### 博物館に関する科目一覧

| 単位数 | 通信授業 | 面接授業 | メディア授業 |           |
|-----|------|------|--------|-----------|
| 1   | 1    |      |        | ミューゼオロジーⅠ |
| 2   |      |      |        | メディア論     |
| 1   | 1    |      |        | 生涯学習概論    |
| 4   |      |      |        | ミューゼオロジーⅡ |
| 2   |      |      |        | 博物館資料保存論  |
| 2   |      |      |        | 博物館展示論    |
| 2   |      |      |        | 博物館教育論    |
| 1   | 2    |      |        | 博物館実習     |

\*この他に、定められた授業科目の単位を修得する必要があります。

\*学芸員課程の授業科目の多くは、芸術文化学科の学科別専門科目です。このため、同学科以外の学生が履修する際には、所属する学科・コースの面接授業日程と重なるなど、2年間の学習では単位修得が難しい場合があります。入学後Webキャンパスの『学芸員課程ガイドブック(PDF)』で確認してください。

★は科目試験を実施する授業科目



Q9

通学課程との違いは何ですか？

授業形態はもちろんですが、とにかく**多様な学生が学ぶところに大きな違いがあります**。スクーリングでは幅広い年齢、職業の学生と接する機会があり、同世代同士よりも多角的な視野の獲得や、新たな発見につながることもあるでしょう。

Q10

パソコンは必要ですか？

**はい、本学では必携としています**。Web出願、履修登録、各種申請、メディア授業受講などをWeb上で行うことになります。通常のインターネットが使用できるパソコンであれば問題ありませんが、デザイン情報学科ではノートパソコンが必携です。詳細は学生募集要項P.24をご確認ください。

Q &amp;

A

2

相談会でよくある質問をまとめました

Q11

学習上で分からないことがあれば  
どうしたらいいですか？

**Webまたは郵送にて学習質問を行うことができます**。事務的な内容であれば事務局までメールまたは電話でお問合せいただけます。入学時に送付する履修ガイドブックや、学生ハンドブックもよくご確認ください。

レポートはWebで  
提出することはできますか？

多くのレポート課題科目はWeb上での提出が可能ですが、一部郵送提出のみの科目もあります。学習指導書と入学時に送付する「科目一覧」資料に提出方法が記載されています。

Q12

科目試験はいつどのように  
行われますか？

年6回、全国10会場(札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・大阪・広島・福岡・鹿児島・沖縄)で開催されます。科目試験を必要とするのはP.50,51の文化総合科目のうち★印の科目です。

Q14

Q13

就職サポートは  
受けることができますか？

新卒対象の方はムサビ独自の**就職支援サイト「ムサビ進路ナビ」の利用が可能です**。就職に関する情報を得られるほか、学内ガイダンスへの参加もできます。なお、鷹の台キャンパスのキャリアセンターではどなたでもポートフォリオの閲覧などができます。

Q16

画材はどう揃えれば  
いいですか？

あらかじめ買い揃えておく必要はありません。入学後、教科書・学習指導書等によりアドバイスがあります。学習の進み具合に応じて、課題にしたがって最小限の用具から買い揃えてください。

Q15

## Class Format

### 授業形態とその学び方



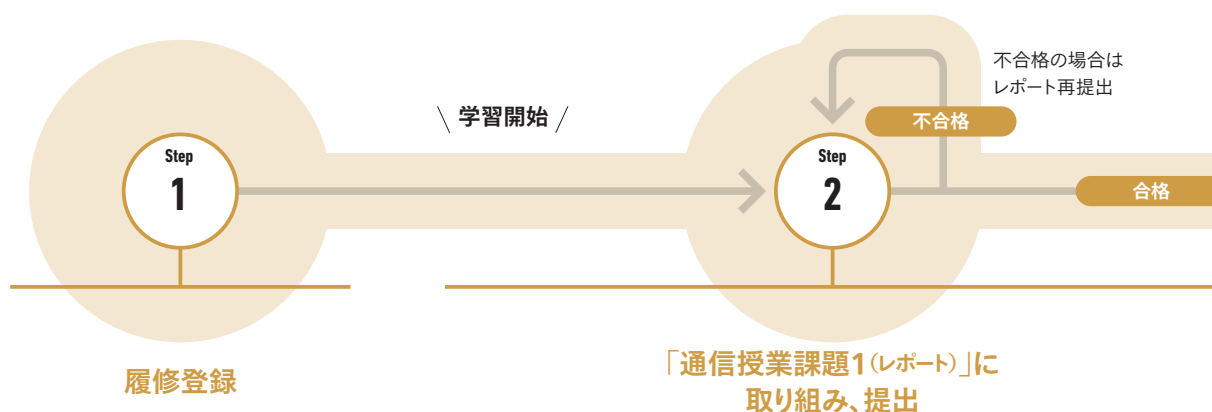
スクーリング  
通信授業、面接授業、  
オンラインでのメディア授業。  
多様な学び方を組み合わせて  
効果的に学習する。



# 通信授業の学習の流れ

## 理論系科目を例として

本学教員を中心に第一線の美術家や研究者が執筆した教科書を主に使用します。  
各授業科目には、課題や学習方法を詳しく解説した学習指導書が用意されており、  
これを指針に通学することなく、各自のペースで学習を進め、課題のレポートや実技課題作品を提出、  
担当教員によるきめ細かな添削指導を受けます。



履修登録をすると、学習に必要な教材が届きます。学習指導書(PDF)に沿って教科書や参考文献などを見ながら、各自のペースで学習を開始します。

学習指導書をよく読み、一つ目の通信授業課題であるレポートを作成し、必要な資料などを揃えてWebまたは郵送で提出します。担当の教員がレポートを添削し、評価やアドバイスを書き込んで返却します。

通信授業では、  
科目ごとに教科書と  
学習指導書が  
用意されています



教科書 水尾比呂志『日本造形史』  
(武蔵野美術大学出版局)

### 通信授業 課題1

課題：12世紀のやまと絵の技法を伝える「源氏物語絵巻」「信貴山縁起絵巻」の2点を比較し、文化的背景などに留意しながら、それぞれの表現上の特色を述べる。

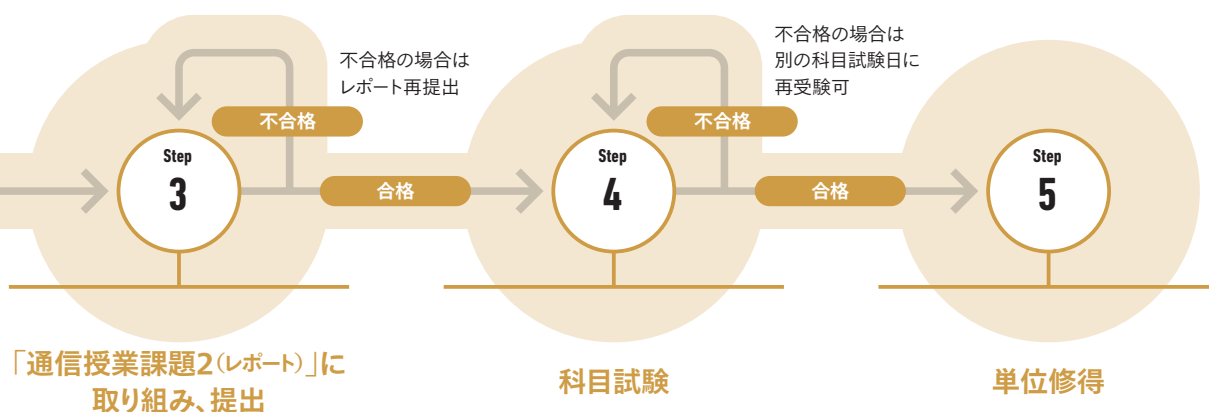


## 日本美術史

[通信授業2単位]

レポートと添削指導を通して、日本美術を幅広く理解する。

通信授業だけで構成されている理論科目の一つ、文化総合科目の「日本美術史」では、絵画を中心に彫刻や工芸など、日本の造形全般について幅広く学習します。この科目の大きな特色は、作品固有の価値はもちろん、作者や受容者の意識、歴史的、文化的背景など、さまざまな視点から日本の造形文化について学ぶこと。そのためには、教科書を熟読するとともに、参考図書を利用したり、展覧会などに足を運んで日頃から視野を広げておくことが大切です。通信授業では、教員とじかに接することはありませんが、積極的な学習姿勢とその成果はレポートを通して教員に伝わり、きめ細かな添削によって十分な指導と評価を受けることができます。



課題1のレポートに合格したら、次の課題に取り組み、同様にレポートを作成し、提出します。

課題2に合格すると、科目試験の受験資格を得られます。申込手続きを行い、試験に合格すれば、通信授業2単位分の単位修得となります。

### 通信授業 課題2

課題: 江戸時代の庶民文化の華とも称される浮世絵、その絵師の中から任意の一名を選び、作品を挙げて特質を論じる。



### 全国10会場での 科目試験

単位修得のための科目試験(筆記試験)は、札幌、仙台、東京、横浜、名古屋、大阪、広島、福岡、鹿児島、沖縄の10会場で年6回、日曜・祝日に実施されます。



# 面接授業の学習の流れ

## 実技系科目を例として

実技科目を中心に、鷹の台キャンパス、三鷹ルーム、市ヶ谷キャンパスいずれかの会場で教員から直接指導を受けます。  
また他の学生と学びの場を共有することにより、そこでしか得ることができない刺激や学びがあります。  
この濃密なスクーリングこそが、ムサビ通信の最大の特徴です。



スクーリングを受講するには、該当科目のスクーリング申込期間内に受講申込と受講料の納入が必要です。「スクーリング持参物」の冊子を参照して持参する道具を準備し、開講場所と期間を確認してスクーリングに臨みましょう。

スクーリング前半の課題は、任意の素材を使ったクロッキーやデッサンで本制作に繋がるエスキースの制作をします。初日は前提講義から始まり、3日目まで各々で課題制作を行います。制作をしながら詳細なアドバイスを受けることができます。

3日目の午後は講評を行います。形態や空間、明暗や色彩、構図や構成など、後半に繋がるそれぞれの方向性を決めていくことが目標になります。自分の作品だけでなく、受講生のさまざまな作品に触れることで、見方や捉え方、考え方や感じ方をより豊かに学ぶことができます。

### 「静物をモチーフとしたデッサン」

モチーフを通して造形物の形、色、質感、性質を捉え、対象物と向き合いながら、自らの関心や視点を探る。

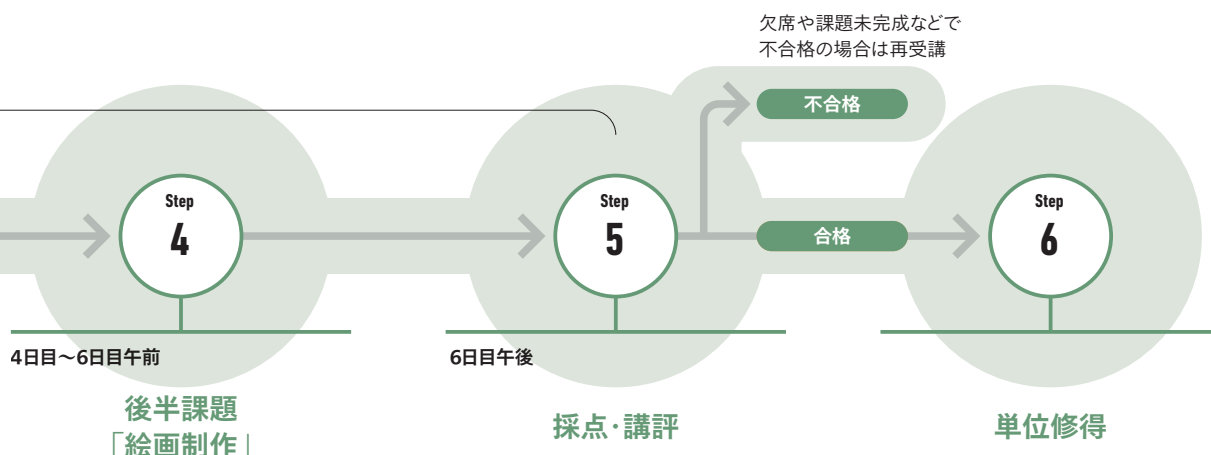


## 絵画表現 基礎 I B

[面接授業2単位]

### 静物画、絵画表現の基礎に取り組む。

絵画表現コースの学科別専門科目「絵画表現基礎 I B」は6日間の面接授業(スクーリング)を通して、静物を対象にした絵画制作に取り組みます。セッティングされたモチーフを描く静物は、ものの見方や造形の考え方を学ぶ上で最も基礎的でありながら普遍的でもある題材です。前半はクロッキーやデッサンを行いながら、構図や構成、対象相互の関係、形態や色彩などを追求し、後半の絵画制作に繋げるための取材(エスキース)を行います。後半は実際に絵具を使いながらそれぞれの表現を追求していきますが、ここでは絵具を使う楽しさと同時に奥深さを知ることが目的となります。教員から直接指導が受けられるほか、受講生のさまざまな作品に触れることは、その後の作品制作にも生かされる豊かな経験となるでしょう。



スクーリングの後半3日間は前半で制作したエスキースを基に、油彩やアクリル絵具などを使用した本制作に取り組みます。絵画における絵具の物質的な効果を実感しながら描くことで、その表現の幅を学びます。

スクーリングでは、限られた時間の中で集中して制作し、作品を完成させなければなりません。最終日の6日目は午前中まで引き続き制作を行い、午後は全員の作品を並べ、採点と講評を行います。



#### 「静物」

組まれたモチーフを、15～20号キャンパスに油彩やアクリル絵具などで制作する。





[造形総合科目]

## デザイン基礎ⅠB

[面接授業2単位]

課題を通して、視覚表現ならではの伝達方法を学ぶ。

デザイン系の面接授業(スクーリング)の例として取り上げる「デザイン基礎ⅠB」は、グラフィックデザインをコミュニケーションのための有効な手段としてとらえ、さまざまな手法を通して、その具体的な方法を学ぶ科目です。表現の仕方だけでなく、それがどのように伝わるかを検証しながらグラフィックデザインの基礎を学びます。スクーリングは受講生それぞれの個性、ものの見方や表現の多様性を知り、自分の作品を見直す機会でもあります。アイデアやコンセプトを形や色、構成といった要素にどのように展開していくか、徹底して考える4日間になるはずです。



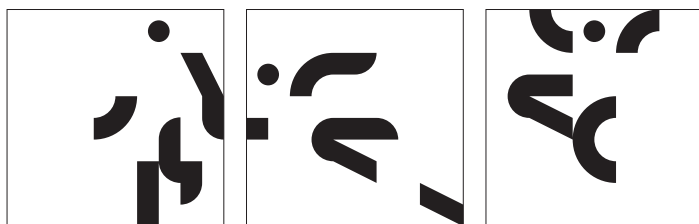
スクーリングを受講するには、該当科目のスクーリング申込期間内に受講申込と受講料の納入が必要です。「スクーリング持参物」の冊子を参照して持参する道具を準備し、開講場所と期間を確認してスクーリングに臨みましょう。

スクーリング前半の課題はピクトグラム。「歩く・走る・跳ぶ」といった人間の動きをピクトグラム化していきます。初日は全員が集まって前提講義ののち、グループワークに取り組みます。制作では、クイックピクトという独自のツールを使って、それぞれのピクトグラムを完成させていきます。

シンプルなパーツの組み合わせで、躍動する動きの特徴が掴めているか。講評ではさまざまな受講生の作品を見比べることで、少しの違いでも伝わり方が変わってくることが分かるはずです。

### 「ピクトグラム」

指定されたパーツをアレンジして、「歩く」「走る」「跳ぶ」といった人間の動きを図形化することにより、視覚伝達の基本を学ぶ。



前提講義後のグループワーク。意見を出し合いながら、ことばによる伝達と視覚的な伝達の違いを理解する



ユニットパターンを使ってラフスケッチの制作

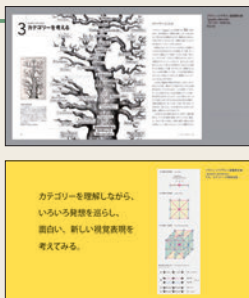


ラフスケッチの中から本作品へと進めるスケッチを選び、クイックピクトで制作する

## 学習効果を高める補助プログラム

### オンラインプラス

一部の面接授業科目には、授業の予習や復習を目的とした補助プログラム「オンラインプラス」が設置されています。PCやスマートフォン、タブレットで自由な時間にアクセスし、学習効果を高めることができます。



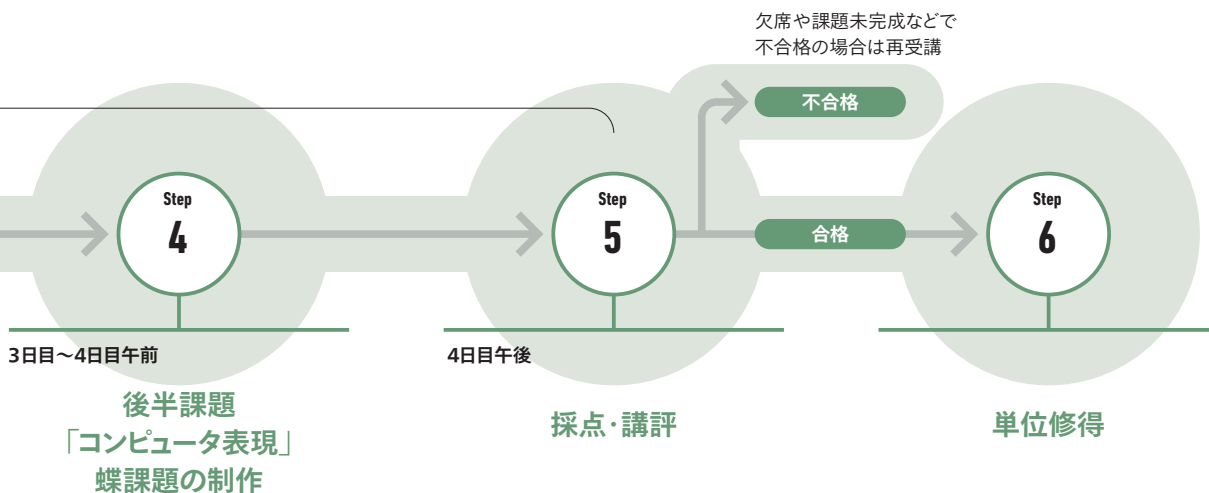
## 技法の習得をサポート

### 造形ファイル

造形表現における素材や道具、技法などの理解と習得をサポートするため、豊富な動画や静止画などを大学のWebサイトに掲載しています。



<https://zokeifile.musabi.ac.jp>



スクーリング後半は、アイデアを画像にするという課題を通して、コンピュータによる表現を学習します。この課題では、身の回りで起こる出来事や事柄を収集、分析し、特定の視覚形態である「蝶」に置き換え、その形態に意味を重ね合わせた視覚表現として作品化。アイデアを発想、展開するプロセスを学びます。

最終日には講評を行います。この課題では、アイデアの意図が色・形・構成から伝わるかどうか。そして、それが美しく表現できているかどうか重要です。他の受講生の作品にも触れながら、情報の伝わり方や表現の多様性について考え、次の制作へと生かしていきましょう。

### オンラインプラスの活用

「デザイン基礎 I B」のスクーリングでは、オンラインプラスを併用します。オンラインプラスは自由な時間にWebで視聴できるコンテンツで、スクーリングの予習として活用することで学習効果を高めることができます。

### 「コンピュータ表現」(蝶課題)

素材を取り込んだり、練り上げたアイデアを基にPhotoshopやIllustratorなどのアプリケーションを使って作品を仕上げていく。





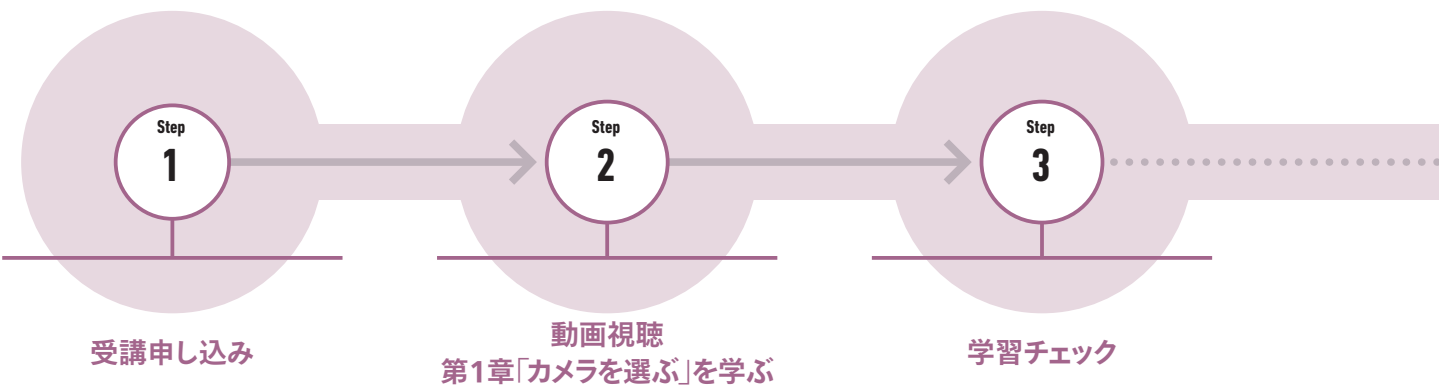
# メディア授業<sup>〔オンデマンド〕</sup>の学習の流れ

## 理論系科目を例として

通学することなく、面接授業（スクーリング）と同じように、双方向のコミュニケーションをWeb上で実現し、時間的・地域的制約を超えて学ぶことができます。

また、メディア授業にはオンラインスクーリング型とオンデマンド型の2種類があります。

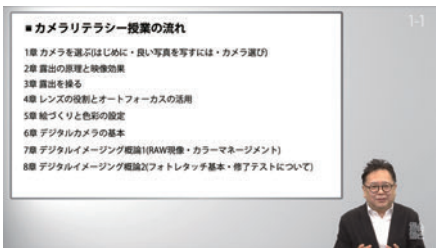
なお、メディア授業はオンラインを活用するため、インターネットに接続できる環境にあることが履修条件となります。



履修登録を済ませ、受講申込をした  
ら、スクーリングと同様に、受講料を  
納入します。

そして開講期間になると、講義動画  
の視聴が可能になります。

メディア授業<sup>〔オンデマンド〕</sup>の基本  
的な学び方は「動画視聴」です。  
Webキャンパスにアクセスして動画  
を視聴しながら学習を進めていきま  
す。第1章では、この科目の学習目的  
と、基本となるカメラの特性につい  
て学びます。



動画視聴のイメージ。「カメラリテラシ  
ー」では、カメラと写真の技術的な知  
識を詳しく解説していく

第1章の動画視聴が終わったら、章  
ごとに設けられている「学習チェッ  
ク」を受験します。択一式の理解度  
チェックで、正答できるまで繰り返し  
受験します。

合格基準を満たすと、次の章の動画  
が視聴可能になります。



学習チェックは択一式の選択問題。  
動画の内容を十分に理解できている  
かを確認する

## メディア授業の構成

1章は1節15分の動画、4つで構成されています（合計約60分）。全動画を視聴後「学習チェック」を行い、正答すれば、次  
の章を視聴できます。これを8章分すべてを終えることで「修了テスト」を受験することができます。

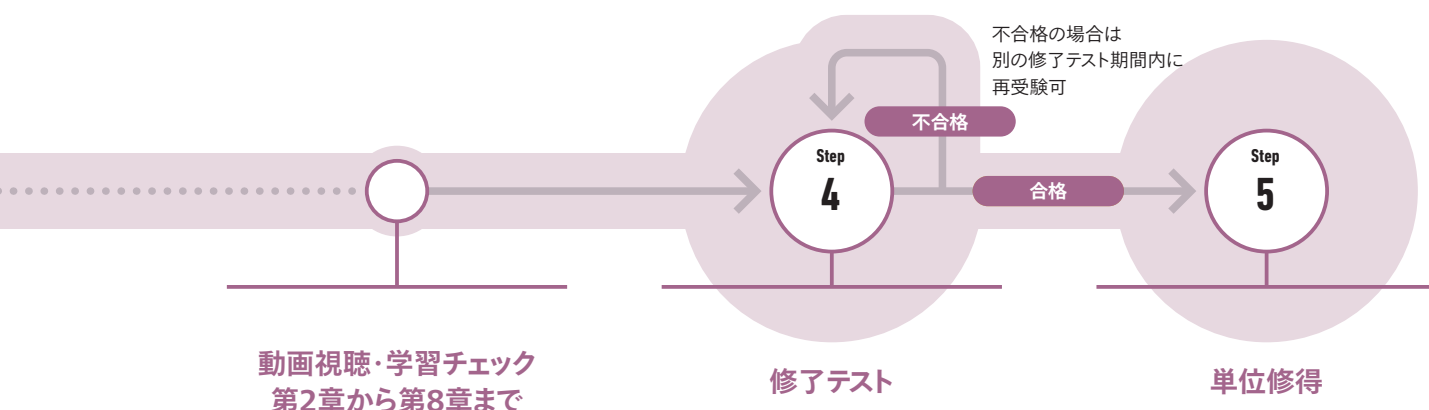


## カメラリテラシー

[メディア授業1単位]

身近なカメラについての正しい知識を得る。

写真はデザイン系の学生に限らず、画像に記録することや資料として提示するなど、さまざまな局面で求められることがあります。文化総合科目の「カメラリテラシー」では、表現としての写真技法ではなく、カメラやレンズの基礎的な知識や構造、特性、使い方などを中心に学びます。



第1章の学習と同様に、第2～8章まで各章の動画視聴と学習チェックに取り組み、学習を進めます。「カメラリテラシー」では8つの章を通して、カメラと写真表現の基礎となる技術的な知識を段階的に身につけていきます。

全ての章の動画視聴と学習チェックを終了すると「修了テスト」の受験資格を得られます。申込手続きを行い、修了テストに合格すれば、メディア授業1単位分の単位修得となります。科目によって、修了テストではなく課題提出の場合もあります。

※修了テストは前期3回、後期3回、計年6回実施でどれか1回合格をして単位取得となります。

### カメラリテラシー 各章の構成

- |                       |                                        |
|-----------------------|----------------------------------------|
| 1章 カメラを選ぶ             | 5章 絵づくりと色彩の設定                          |
| 2章 露出の原理と映像効果         | 6章 デジタルカメラの基本                          |
| 3章 露出を操る              | 7章 デジタルイメージング概論1 (RAW現像/カラーマネジメント)     |
| 4章 レンズの役割とオートフォーカスの活用 | 8章 デジタルイメージング概論2 (フォトレタッチ基本/修了テストについて) |

### 学習効果をより深めるためのサポート

教員にいつでも質問できる

ネットフォーラムの活用

メディア授業[オンデマンド]では、教員への質問や、学生同士の意見交換の場として「ネットフォーラム(BBS)」が設けられています。学習開始から、単位を修得するまで随時利用することができます。





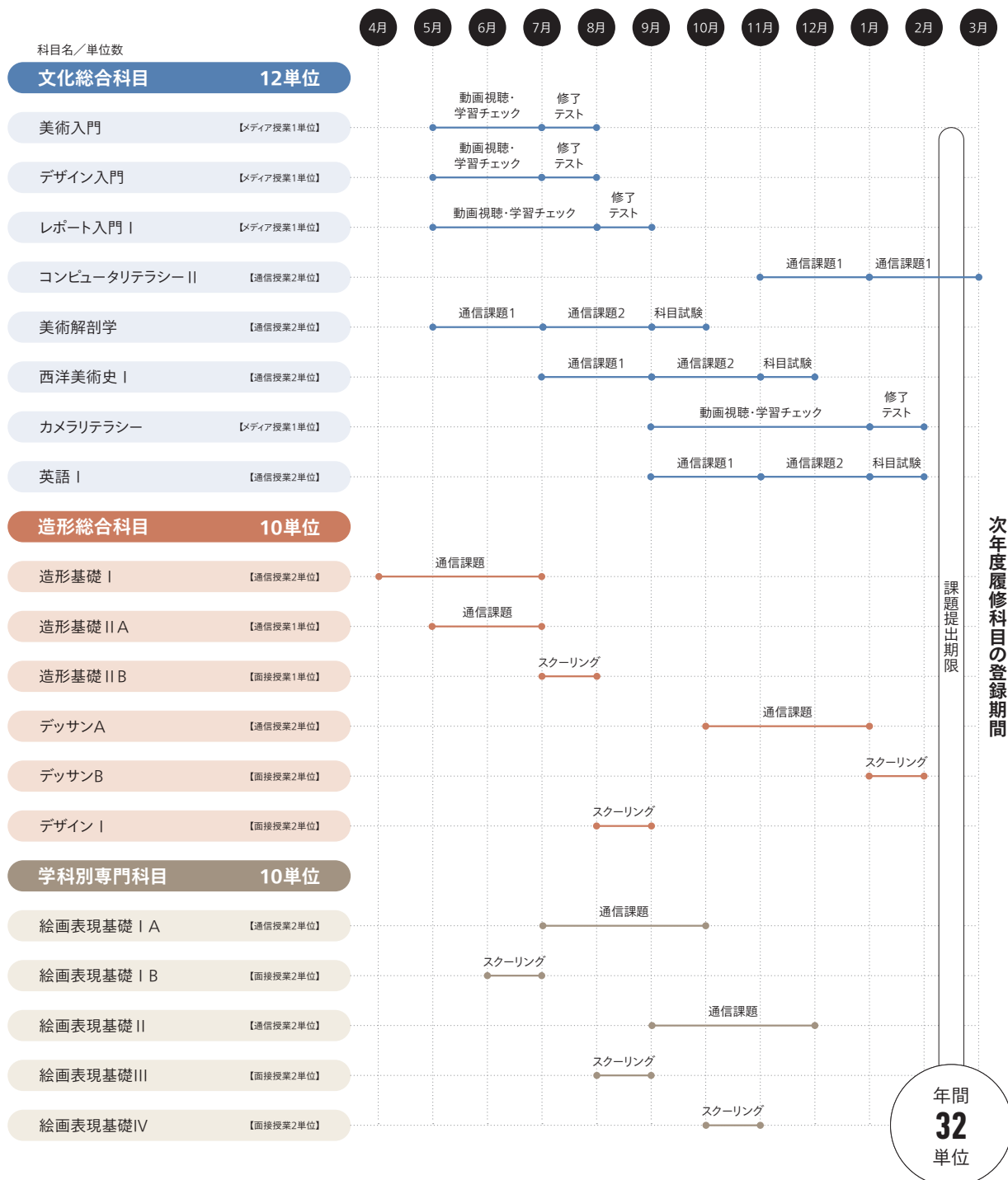
## それぞれの学習ペースで 一年間のスケジュールを組み立てる。

卒業には124単位が必要とされ、1年間に学習できる単位の上限は40単位（資格関連の科目を除く）。年度始めに履修登録し、単位の修得を目指します。1年間に履修する科目や学習スケジュールは大学が決めるのではなく、学生各自の都合や学習進度に合わせて、自由に選択・設定します。基準となるのは年間6回機会がある科目試験の受験日や、スクーリングの日程、メディア授業修了テスト。これらをもとに、年度始めに各自で年間の学習スケジュールを組み立てます。

### 年間学習スケジュールの例

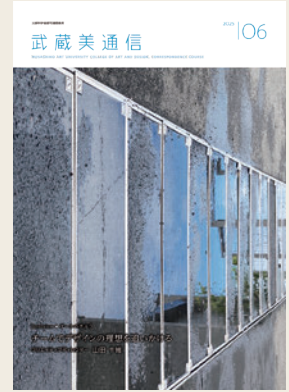
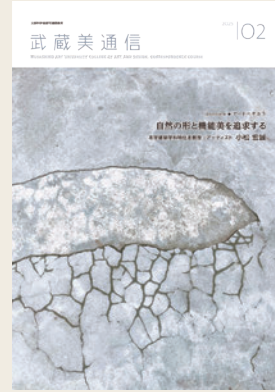
[ 絵画表現コース／1年次生の場合 ]

不合格その他の理由で年度中での単位修得が難しくなった場合は、翌年度に継続履修登録すると、前年度に引き続いた学習をすることができます。



## 月刊誌『武蔵美通信』

大学と学生を結ぶ補助教材となるコミュニケーションツールです。大学からの連絡事項だけでなく、教員のインタビュー、美術・デザイン界の話題なども掲載しています。ムサビ通信で学ぶ皆さんへ、年に8回送付されます。



## 学習会活動

学習会は、学生の自発的な呼びかけによって設立、運営される学習と交流の場です。自主的な学習の場を設けたり、課題勉強会や見学会を催すなど活発な活動が展開されています。大学が認定した学習会には、活動費の援助や月刊誌『武蔵美通信』での活動内容の発信などの支援があります。

## 奨学金

ムサビ通信では、成績優秀な学生に対し、次の奨学金を贈与または貸与しています。詳しくは「学生募集要項」をご覧ください。

- 武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 奨励奨学金
- 武蔵野美術大学校友会奨学金
- 日本学生支援機構奨学金（貸付・給付）

## 美術館などの割引特典

東京は世界でもまれな美術館・博物館集積都市。ムサビ通信はさまざまな館と提携して、「キャンパスメンバーズ」制度に加入しています。キャンパスメンバーズは、学生証を提示することにより美術館・博物館の常設展への無料入館や、特別展の割引が利用できる制度です。東京国立博物館や東京国立近代美術館、国立西洋美術館、さらに東京都立のさまざまな美術館・博物館などに適用されます。

## 学割／通学定期券

スクーリングの受講、科目試験の受験、卒業制作講評の受講等のためにJR線を利用する際、会場までの片道乗車区間が101キロメートル以上ある場合は、学割（学校学生生徒旅客運賃割引証）を利用することができます。また、夏期スクーリングなどで長期間通学する場合は、電車・バス等の通学定期券を購入するための「通学証明書」が発行されます。

## 宿泊施設の紹介

大学近辺のアパート（夏期スクーリング時）、学生会館、ホテルなどを紹介します。

## 進路サポート

卒業後に就職を希望する新卒対象の学生は、登録申請を行うことで本学の就職支援サイトの利用ができます。

## 学外厚生・研修施設



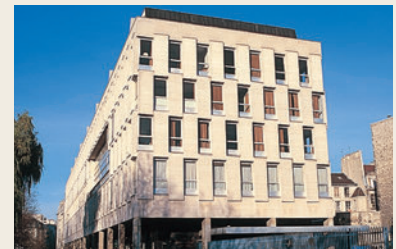
### 奈良寮

古美術研究やスケッチ旅行などのために広く開放されている厚生施設の一つ。建物は国宝・重要文化財の修復に功績を残した故新納忠之介氏の旧宅で、正倉院の近くに位置し、古美術研究旅行に最適です。



### 五箇山「無名舎」

富山県にある厚生施設。越中五箇山の典型的な合掌造りの民家を、研究・保養施設として改修した建物です。伝統的な民家建築と、五箇山地方に古くから伝わる民俗・民芸の数々も楽しめます。



### パリ国際芸術都市アトリエ

セーヌ川沿いに位置する「国際芸術都市」に本学が使用権をもつ2つのアトリエがあり、ムサビ卒業生に応募資格がある「パリ賞」受賞者が入居することができます。





3つの型で成っているんだ！

### 1. 通信授業



### 2. メディア授業



### 3. スクーリング





ネットフォーラムや造形ファイルなどのツールですぐ調べられるよ！

質問はこちらへ

キャンパスの張り方  
キャンパスのはりかた  
How to Stretch a Canvas

よかったあ!!

私はサバオの助言のおかげで、

忙しいけど充実した日々を送ることができました

そして1つ目の課題を提出し数週間後…

講評が届いてる！

カッパッ!!

講評

し、指摘が鋭いっ…！  
けっこう自信あったのに！

大丈夫だよ美子、安心して！

それこそムサビ通信の“強み”なんだ

どういうこと？

妥協しない教育…！

見ているのは技術力だけじゃないってことさ！

在学学生C

添削が長い先生もいるが、丁寧な添削でちゃんと見てもらえてると感じる。

在学学生D

絵が上手だからといって採点が高いではなく、どれくらい課題に真剣に向き合ったか、プロセスも見られるので、自信满满でも普通に凹むこともあります…

そうだった…私、

自分を変えたくて始めたんだっ！

うおお 厳しい添削 どんとこい！

おいしいサバ缶も どんとこいだよ



スクーリングで出会った先生や  
友人とのつながりが  
自分らしい表現へと  
向き合わせてくれた。

柏葉まゆさん  
2024年度卒業  
絵画表現コース  
油絵学科

### 諦めていた美大への道

——ムサビ通信に入学したきっかけを教えてください。

高校時代に美大受験を目指していたのですが、美術予備校で周りのレベルに圧倒されてしまっ。当時の課題も社会的なテーマが多く、自分が本当に描きたいものを描けないことに違和感がありました。将来への不安もあり、美大進学は諦めて普通大学に進学して就職しました、が……。

ふと、コロナ禍にまた絵が描きたくなっ。考えてみたらアーティストにはなれないかもしれないけど、美術が好きだという気持ちを伝える仕事ならできるかもしれない。そこで美術教師という道が浮かびました。早速調べてみると、通信で教職課程を学べるムサビ通信を知り入学しました。

——入学前、不安だったことはありますか？

やっぱり「本当に卒業できるのかな？」って（笑）。仕事との両立も含めて不安でした。でも「やりたい！」という気持ちが強く、とにかく始めてみました。

実際に入ってみると、思った以上に自分から動かないと進まないんだな、と実感しました。スクーリングは参加すれば楽しく課題をこなせたのですが、通信授業課題は手がつかなくて……。1年目はほとんど提出できませんでした。「このままじゃ卒業できない」と思って、壁にスケジュール表を貼って見える化したら、ようやく動き出しました。





——スクーリングは楽しかった、と。

働きながら学んでいる人が多く、同じような立場の人たちと互いの制作について話せるのがありがたかったです。作品制作中に「この色いいですね」と話しかけたりして、お互いの作品を通して生まれるコミュニケーションから世代や職種が違っていても自然と仲良くなれて、卒業後にグループ展示に誘ってもらったり、そういうつながりも生まれました。もし普通に受験して通学の美大に入っていたら、こんな出会いはなかったかもしれません。

——絵画への意識や価値観も変わりましたか？

絵画を見る楽しみを知れたのが大きかったです。入学前は美術館にもあまり行かなかったのですが、油絵具を使うようになってから、絵の具の重なりや筆跡に興味が出てきて。写真では分からない情報を求めて、よく展覧会に行くようになりました。横尾忠則さんの作品を初めて見たときは、「こんなのもあるんだ」と衝撃を受けて、それ以来、現代アートも楽しめるようになりました。

——印象に残っている授業を教えてください。

「絵画表現VIB」というスクーリングで「自分のテーマで描いてください」と言われ、何を描いていいか分からなくなったことがありました。最初はチューリップを描こうとしたものの、気持ちが入らなくて……。家で悩んでいたとき、小さな鏡に映った自分の顔を見て「これでいいや」と思って描いたのが自画像でした。描いているうちに楽しくなって、自分なら下手でも許せるし、モデルに申し訳なくする必要もない。そのとき描いた自画像は、首が緑色で(笑)、「なんで?」とよく聞かれました。実は、高尾山で見た御神木の幹の形と色が印象に残っていて、それを重ねたんです。先生や周りで見っていた受講生から「チューリップみたいだね」と言われたのも面白かったです。

——卒業制作はどんな作品でしたか？

テーマは「金木犀」。実家の庭にあって身近な存在だったので描きやすかったです。100号の大きなキャンバスに、赤や黄色、ターコイズなど、いろんな色を自由に使って描きました。先生からも「柏葉さんらしい色使い」と言ってもらえて、自分らしいスタイルが少しずつ見えてきた気がしました。学生生活を通じて、先生方が一貫して「他人ではなく、自分が何を表現したいのか」を問いかけてくださったことも印象的でした。

——今後の活動を教えてください。

制作は自分のペースで続けながら、今後は美術教師として新たな人生をスタートする予定です。一度ゲスト講師で来てくださった入江観先生が授業中におっしゃっていた「人生は美しいものであふれている」という言葉が心に残っていて。晴れた日の葉っぱの艶や、空き缶のかたち……日常にある美しい瞬間に気づき、それを誰かに伝えることが美術教育なんだと実感しました。たとえ絵が苦手な子にも、美術本来の面白さを伝えられる先生になりたいです。

絵画表現VIBの課題で制作した自画像。

「自分と似ているかは分からないんですけど、達成感がありました(笑)。おでこは特徴をとらえている気がします」



卒業制作作品《日常Ⅰ》。「住んでいる部屋が狭かったので、100号サイズの制作には苦労しました」

かしわばまゆ／油絵学科 絵画表現コース

1995年生まれ。会社員。2021年度に2年次編入学、2024年度卒業。スクーリングで出会った学友とグループ展も開催。今後は教師として子供たちに美術の楽しさを伝える。





ほぼ毎週の  
レポート制作は  
大変でしたが  
論理的に美術を  
評論する力が  
身につきました。

芸術文化学科  
芸術研究コース  
2024年度卒業  
高橋良美さん

### 美術を伝える、伝わる喜び

——美術を研究しようと思ったきっかけを教えてください。

2019年に「奇想の系譜展 江戸絵画ミラクルワールド」(東京都美術館)を観たことが、美術に興味を持つきっかけでした。江戸時代の画家たちの自由で鮮烈な表現に衝撃を受け、美術の見方が大きく変わったんです。

その後、コロナ禍で時間ができたこともあり、美術検定を受けてみたところ、「もっと体系的に学びたい」という思いが強くなりました。学芸員資格の取得も視野に入れつつ、社会人でも学びやすい環境を探す中でムサビ通信の芸術研究コースに出会いました。

——お仕事との両立はどうでしたか？

テレビ制作の仕事をしているため忙しい時期も多く、レポートやテストの締切を逆算して、Googleスプレッドシートでスケジュールを管理しながら進めていました。土日は図書館に通い、平日の夜にパソコンでリサーチやレポート作成。ほぼ毎週2000字のレポートを提出するのは決して楽ではありませんでしたが、学ぶこと自体が楽しかったのでモチベーションは保てました。

レポートを提出すると、先生から丁寧な添削とコメントが返ってくるのも嬉しかったですね。学習内容そのものを評価してもらえる経験は、仕事ではなかなか得られないものなので、大きな励みになりました。

——印象に残っている学びや授業はありますか？

芸術研究コースは通信授業とメディア授業が主だったので



すが、通信授業であっても先生方がこちらの関心や傾向を把握し、添削の中でそれに触れてくださるやり取りが印象的でした。

学芸員課程のスクーリングでは、美術館の裏側を見てとても勉強になりました。直近まで学芸員の仕事をされていた先生もいらしゃったので、生の声が聞けて新鮮で。想像以上に裏側は体力作業も多く大変そうでしたが、そういった知らない部分を知れてよかったです。

#### ——卒業研究ではどんなテーマに取り組んだのですか？

卒業研究では、一度観た体験が忘れられない現代美術家・会田誠の《紐育空爆之図》をテーマに、作品の批評の変遷や研究史を考察しました。なぜ衝撃を受けたのかを言語化するために、過去の課題で得たテーマを少しずつ発展させながら、2万字の報告書に仕上げました。完成に近付いたところで先生方の指摘もあって書き直しもあったり、孤独で厳しい作業ではありましたが、自分の力でやりきったという実感があります。

#### ——美術への見方も変わりましたか？

以前は「好き・嫌い」といった感覚的な見方が中心でしたが、構図や光の使い方、作品の歴史的背景など、論理的に美術を捉える視点が身につきました。美術史の中で作品がどんな意味を持つのか、作者がどんな試行錯誤をしていたのか……そうした背景に思いを巡らせるようになりました。

今は、作品の裏にある技術や表現の変化にも注目するようになり、より多角的に美術を楽しめるようになったと思います。他の学問と一緒に美術の見方がわかれば面白いんです。そうした美術鑑賞の魅力を伝える活動も今後はしていきたいなと考えています。

#### ——この学びは、仕事や生活にも影響を与えましたか？

文章を書く力は特に磨かれたと感じています。レポートを何本も書く中で、情報を整理し、簡潔に構成する力が自然と身につきました。今の仕事でも、企画書作成や企画提案の際に役立っています。

また、何かを「人に伝える」意識が強まりました。自分が美術作品をどう見ているかだけでなく、それを他者にどう伝えるか。そういった思考は仕事と共通する部分も多く、実践的な学びでもあったと思います。

#### ——社会人が芸術を学ぶ意味について、どう感じましたか？

たとえ直接仕事に結びつかなくても、「学ぶこと」はそれ自体に意味があると実感しました。知識を得る喜びや、新たな視点に出会えることで、日々の生活が豊かになります。美術やデザインに興味があるなら、まずは一歩踏み出してみることが大事だと思います。

私にとってムサビ通信は、そうした学びを実現できる環境でした。学費の面でも続けやすく、社会人にとって現実的に通える選択肢だったと思います。

これまでに提出してきたレポートや論文、エッセイなどの課題の束。「添削コメントが毎回楽しみで、今でも大切に保管しています」



自宅の空間とコレクションを使って展示を企画するという課題で提出した切手。「キャプションを書く勉強になりました」

たかはしよしみ／芸術文化学科 芸術研究コース

1983年生まれ。テレビプロデューサー。2022年度に3年次編入学、2024年度卒業。番組制作の仕事と両立し、在学中に学芸員資格も取得。





課題をやってみて  
足りないと思ったら、  
また別の学びへ。  
そんな柔軟さが  
ムサビ通信の良さでした。

デザイン情報学科  
デザイン総合コース  
2024年度卒業  
佐々木あゆみさん

## 大人の青春でした

——デザインを学ぼうと思ったきっかけを教えてください。

当時、小学校の学校事務の仕事をしていて、少しだけ日々の仕事に飽きていました。その頃、友達と美術館に行ったらそこで知識を披露してくるのがちょっと悔しかった経験もあって(笑)。もともと美術館に行くのが好きで、美術の知識を深めたいと考えていたので、私も勉強しようと思ったのがきっかけです。

ただ、デッサンなどを学んだ経験もないので、アートは少しハードルの高さを感じていました。一方で、当時の仕事で学内向けの配布物を制作していたので、デザイン的な視点を持てば日常の仕事がもっと楽しくなるかもしれないと考えデザイン総合コースを選びました。

——デザイン総合コースに入学してからの学びはどうでしたか？

デザイン=ポスターやチラシというイメージしかなかったのですが、入学してみると「地域と関わる」「人との関係を設計する」など、もっと広くて柔軟な領域があることに驚きました。IllustratorやPhotoshopのようなデザインソフトを使えるか不安でしたが、初歩から丁寧に教えてくれる授業があって、日々の課題を通じて自然に身につけていきました。

——卒業までに200単位も修得されたそうですね。

最初はそんなつもりじゃなかったんですけど……。はじめは主にデザイン総合コースの選択必修科目を受講していたのですが、スクーリングで出会った友達から造形総合科目も勧



められて次の年から受講したんです。それが楽しくて、気づいたら200単位になっていました。彫刻や版画からテンペラまで(笑)、どんどん受けるようになって、手を動かして制作することの面白さに気づきました。

#### ——印象に残っている授業はありますか？

デザイン系の授業では、最後に自分の企画やアイデアを発表するプレゼンテーションの時間があるのですが、それが印象的でした。人前で話すことには慣れていなかったで、最初はとにかく緊張しましたね。でも、先生やクラスメイトにどう伝えたら分かりやすいか、どう見せれば印象に残るかを考えることで、表現の力が鍛えられたと思います。プレゼンで「イラストがあったほうが伝わる」とアドバイスをもらって描いてみたら、「パースが変だね」と言われて(笑)。それがきっかけで、別の授業でパースを学ぶことにしました。足りないところを別の学びで補っていけるのが、ムサビ通信の良さだなと思いました。

#### ——通信課題で苦労したことは？

情報形成デザインⅠAのビジュアル・オピニオンという、言葉を使わずにビジュアルだけで社会課題を伝える課題があって、1年目に挑戦したときは、5回くらいスケッチを出しても不合格でしばらく放置してしまいました(笑)。最終的に3年目に再提出した「ホストクラブ依存」をゴキブリホイホイで、「教育格差」を金ピカのランドセルで表現したところ、ようやく合格をもらえました。すぐ達成感があったので、先生からの添削コメントは大切に保存しています。

#### ——卒業制作はその年の優秀賞に輝いたとお聞きました。

そうなんです！ 半年かけて、飛行機のマナー啓発をテーマにしたアニメーションと冊子を制作しました。以前、客室乗務員をしていた経験から、困ったお客さんをキャラクター化して、楽しく伝える工夫をしました。ルールを強く押しつけると反発されやすいけど、やわらかく伝えるだけでは意味がない。その間をどう表現するかが一番悩んだポイントでした。一つのデザインによって生まれる社会的変化について、考えさせられました。

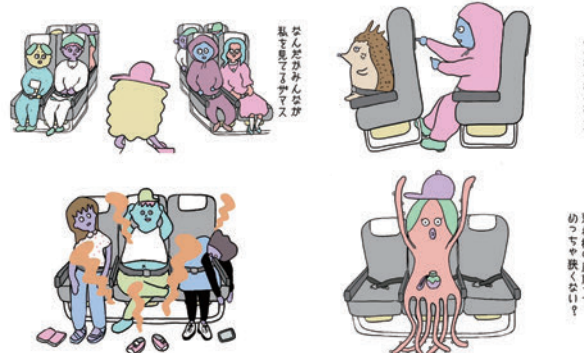
#### ——卒業後、現在の活動を教えてください。

現在は小学校の図工の先生をしています。1年目のスクーリングで、小学校の事務の仕事をしていると伝えると先生から「図工の先生になったらいいじゃん」と軽く言われたのが、なぜかずっと頭に残っていて、教職課程も履修しました。かなり大変でしたが、そのぶん知識がしっかり身についたと思います。

ムサビで学んだデザインや彫刻、版画の経験は、図工の先生として働いて本当に役立っています。最初は趣味の延長で入学したつもりでしたが、気づけば人生の選択肢が大きく広がっていて……。ムサビで学んだ時間は、私にとってまさに「大人の青春」でした。



情報形成デザインⅠAのビジュアル・オピニオン課題で提出した作品。  
左が「ホストクラブ依存」、右が「教育格差」をビジュアルで表現した



卒業制作作品《機内マナーのしおり》。「機内マナーをテーマにしたしおり(上)とアニメーション作品(下)を制作しました」

ささきあゆみ／デザイン情報学科 デザイン総合コース

1985年生まれ。小学校教師。2022年度に3年次編入学、2024年度卒業。キャビンアテンダントとしての業務経験を活かして制作した卒業制作作品「機内マナーのしおり」で優秀賞を受賞。















## 鷹の台キャンパス

武蔵野の面影を色濃く残す小平の地にある、11万㎡以上の広大なキャンパスです。スクーリングは、ここを中心に、アトリエや工房の充実した施設を使って行われます。美術館、図書館、民俗資料室、イメージライブラリーなど、美術・デザインの総合大学ならではの充実したライブラリー環境と、創造的空間が形成されています。







# Takanodai Campus



撮影 赤羽佑樹

## イメージライブラリー

幅広いジャンルの映像資料を2万点以上所蔵し、館内視聴と一部資料の貸出サービスを行っています。映画史を学ぶ上で欠かせない作品や、一般に見る機会の少ない美術史上の映像作品は貴重な教育資源となっており、上映会などの企画開催を通じて、研究・制作への還元も行っています。



## 民俗資料室

人々が暮らしの中で生み出し、使い続けてきた道具(民具)約9万点を収蔵しています。一般公開している収蔵庫や、民具の造形と発想に着目した企画展、体験イベントなどを通じて、時代とともに失われつつある民具に触れることができます。

民俗資料室収蔵庫風景 (撮影 鈴木静華)

## Takanodai Campus Map



## gFAL/FAL

大学内のギャラリー。ファインアート系の研究室が連携して企画運営しています。



## 世界堂

鷹の台キャンパスには画材店もあり、必要な画材を購入することができます。





「2024年度武蔵野美術大学 卒業・修了制作 優秀作品展」展示風景 2025年(撮影:稲口俊太)



「MAU M&L コレクション(絵画のアペセーデル)」展示風景 2023年(撮影:稲口俊太)



「助教・助手展2024」展示風景 2024年(撮影:いしかわ みちこ)

## 美術館・図書館 (鷹の台キャンパス)

美術資料の収蔵品は、「絵画・版画・彫刻」、「グラフィックデザイン」、約400脚の近代椅子を軸とする「プロダクトデザイン」から工芸品、民芸品など多岐にわたり、重要な研究資料として高い評価を受けています。図書資料は美術・デザイン分野の専門書を中心に、30万冊以上の図書と約5,000タイトルの雑誌を所蔵しています。また、国内外の展覧会カタログや絵本など、造形全般を研究するうえで、きわめて魅力的なコレクションを形成しています。



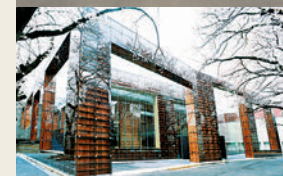
## 美術館・図書館コレクションを アプリ・特設サイトで公開中

美術館・図書館では、コレクションをアプリケーションや特設サイトで公開しています。



上／18～20世紀の貴重書の高精細画像や書誌情報を収録したアプリ「MAU M&L 博物館」  
中／椅子コレクションの3D画像を閲覧できるアプリ「近代椅子コレクション ムサビのイス3D」  
下／杉浦康平氏のデザインアーカイブを紹介する特設サイト「デザイン・コスモス」

美術館・図書館 Webサイト

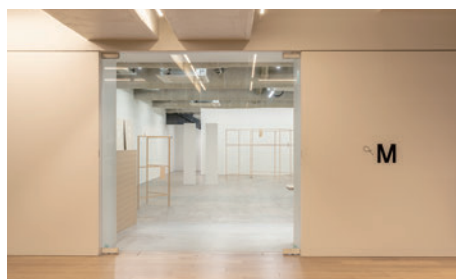




市ヶ谷キャンパス

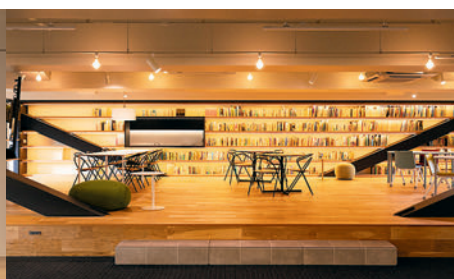


JR中央・総武線「市ヶ谷」駅より徒歩3分とアクセスに恵まれた都心キャンパスで、一部科目のスクーリングに利用されます。企業との共創スペースやオープンスペースの整備など、地域・社会に広く開かれた教育研究拠点として機能しています。



gallery αM

1988年、吉祥寺に開設した「ギャラリーαM」以来、ジャンルを問わず質の高い表現を有するアーティストには発表の場を、社会に斬新な価値を発信できるキュレーターには展示企画の場を提供することを目的に活動を続けています。



コワーキングスペース「Ma」

大学と社会をつなぐ新しいカタチのコワーキングスペースとして、2023年6月に開設しました。コワーキングスペースの運営に加え、若手のクリエイティブ人材のコミュニティの形成や創造性リカレント教育の拡充に取り組んでいます。



1/M (イチエム)

本学に潜在する「美大の教育・研究」の成果を編集し、その価値を広く社会に発信する場です。来場者が常に何かと出会う実験的な場所を目指し、多様性に富んだ企画を実施します。



三鷹ルーム

(武蔵野YSビル6F)

JR中央線「三鷹」駅北口より徒歩4分の好立地にあり、主にスクーリングに利用されます。また、大学や各学科主催による展示発表、公開講座、インフォメーションなど、ムサビと社会を結ぶ窓口として機能しています。





## 造形学部通信教育課程 専任教員

写真左から

MOTODA Hisaharu

元田久治 教授

絵画表現コース

世界を見渡すと国ごとに特徴があるように、絵画の世界の皆さん一人一人にも個性があります。この大学でたくさんのことに挑戦して、自分だけの「好き」や「得意」を見つけ出してください。

1973年生まれ／九州産業大学芸術学部美術学科卒業、東京藝術大学大学院美術研究科修士課程絵画(版画)専攻修了。文化庁新進芸術家海外研修制度研修員(オーストラリア、アメリカ)。版画展(日本版画協会)、2013年よりアートフロントギャラリーにて個展、主なグループ展ではVOCA展、Domani・明日展、プリントって何?—境界を超えて—(市原湖畔美術館)、Hiroshige's City: From Edo to Tokyo(ホノルル美術館)、終わりの向こうへ—廢墟の美術史(松濤美術館)、鉄道と美術の150年(東京ステーションギャラリー)など。

ADACHI Kei

足立圭 准教授

芸術研究コース

新しいことにチャレンジしたいと思うタイミングは人それぞれです。大学という学びの場で、交友関係や興味の対象を広げていきましょう。

1982年生まれ／武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科卒業。青山学院大学総合文化政策学研究科文化創造マネジメント専攻修了。長野県信濃美術館、東山魁夷館(現・長野県立美術館)、女子美術ミュージアム、菊池寛実記念 智美術館で美術館学芸員として19年間勤務。女子美術ミュージアム在職中の2014年より武蔵野美術大学造形学部通信教育課程非常勤講師。2024年より現職。主な展覧会企画として「五感でアート」「五感でアートpart2」「美しい木の椅子」「女子美の新星」「現代のやきもの 思考するかたち」など。

FUKUI Masahiro

福井政弘 教授

デザイン総合コース

デザインの醍醐味は、制作に携わったものが人の手に渡り、生活を豊かにできることです。そんなモノづくりの世界に、一歩踏み出してみませんか?

1969年生まれ／武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科卒業。凸版印刷株式会社(現TOPPAN)トッパンアイデアセンター勤務を経て、2010年にフクイデザイン事務所を設立。食品や菓子、飲料、雑貨等のパッケージデザインを手がける。パッケージのコンストラクションデザインからグラフィックデザインまで幅広く活動。2007年より本学非常勤講師。2024年より本学教授。主な仕事:株式会社永谷園「しじみ70個分のちからみそ汁」、「バキット」、株式会社明治「キシリッシュガム」パッケージ構造、アキアメイド「天然水ゼリー」など。著書「パッケージデザインを学ぶ 基礎知識から実践まで」(武蔵野美術大学出版局・2014年)。

KAWAMURA Emiko

川村笑子 准教授

芸術研究コース

興味のあるものに対して一歩踏み込んで学ぶ場が通信教育です。一人一人が「自分の学び」を見つけ出し、深めていきましょう。

1984年生まれ／武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科卒業。東京藝術大学大学院美術研究科芸術学専攻修士課程修了。武蔵野美術大学卒業後、株式会社思文閣、国際日本文化研究センター勤務を経て、2015年に東京藝術大学大学院入学。同文化教育研究助手を経て、2019年より筑波大学大学院人間総合科学研究科芸術専攻博士後期課程在学。2022年より医療創生大学非常勤講師、2025年より現職。専門は日本近現代美術史。主な論文に「占領期における新日本美術会の活動—支援者中村勝五郎をめぐって」(『近代画説』30号、2021年12月)「占領期における大阪市立美術館の接収とその解除について」(『文化資源学』第21号、2023年6月)など。

YOSHIKAWA Tamihito

吉川民仁 教授

絵画表現コース  
造形学部通信教育課程  
課程長

人は誰でもやってみてみたかった事の一つや二つはあると思います。その扉を開けるには少しの勇気と選択が必要なのです。

1965年生まれ／武蔵野美術大学大学院造形研究科油絵コース修士課程修了。文化庁芸術家国内研修員、1990年より鎌倉画廊を中心に個展、2008年より東京日本橋高島屋美術館にて個展。グループ展ではVOCA展、安田火災財団選抜奨励展、Chiba Art Now '01 絵画の領域展(佐倉市立美術館)、「抽象と形態-何処までも隠れないもの」展(DIC川村 記念美術館)、「18 Tamihito Yoshikawa展 Galerie Taménaga France (パリ)、その他アートフェアなど。





OGIHARA Tsuyoshi

## 荻原剛 教授

デザイン総合コース

デザインは奥が深くて広大で、おもしろく、飽きない。悩むことも当然ありますが、それも含めたのしんでほしいと思っています。

1975年生まれ／武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科卒業。ケルン工科大学デザイン科卒業。  
2004年にケルン工科大学デザイン科卒業。独デザインファーム勤務を経て帰国後にオムロンヘルスケア入社、2017年より同デザイン部門デザインディレクター、2021年より部門長を兼任。最近の業績として、オムロン血圧計HEM-7600T (iF賞、グッドデザイン賞、全国発明表彰、German design award)、オムロンHEM-7530T Complete (iF賞、グッドデザイン賞、German Design Award)、iF賞金賞、reddot best of the best賞、Designpreis der Bundesrepublik Deutschland等を受賞。研究テーマは専門的な領域を持たない「デザイン」の実践と、思考ツールとしてのパターンの探求。

UEHARA Sachiko

## 上原幸子 教授

デザイン総合コース

デザインの活躍の場が、さまざまな場面であつてない広がりを見せています。ムサビで実践的に学び合いながら、見る目と聞く耳を鍛えていきましよう。

1959年生まれ／武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科卒業。  
広告制作会社にて、アドバタイジングデザイン、キャラクターデザイン等の制作に携わる。在学中に障害者の社会参画活動に携わったことでコミュニケーションデザインの存在に気づき、多摩川に市民主催の遊び場を立ち上げ、子ども子育て支援と環境教育、子どもの居場所づくりなどコミュニティデザインに取り組んでいる。主な仕事に、監視庁マスコットキャラクター「ビーボくん」、鳥取県マスコットキャラクター「トリビーン」、環境学習のメディア制作、ワークショップの企画運営などがある。著書:「デザインとコミュニティ」(武蔵野美術出版局・2018年)。

SEKIGUCHI Masafumi

## 関口雅文 教授

絵画表現コース

「美術」という名の翼をムサビ通信で手に入れてみませんか？誰も見たことの無い世界へ行く事ができる、魔法のツールです。

1970年生まれ／東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻油画技法材料研究室修了。  
1994年より横浜を中心に全国で個展、グループ展を開催。個展(仲通りギャラリー)'94 '07 '23、(Galley ARK)'05 '07 '09 '11 '13 '15 '21 '24、(星と森の詩美術館)'10 '25、(松坂屋名古屋本店)'13 '16 '19 '23、(日本橋三越本店)'22 '24、(あべのハルカス)'24など、白日会展(安田火災美術財団奨励賞、文部科学大臣賞など)。

MUROI Kayo

## 室井佳世 教授

日本画表現コース

「いつか」と思っていたこと。ずっと気になっていたこと。好きのカタチが何なのか、探してみませんか。

1962年生まれ／東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻修士課程修了。  
文化庁芸術家国内研修員(秋野不矩氏に師事)。文化庁現代選抜展、New Voiceコンテンツボラリージャパニーズペインティング展(USA North Dakota Museum, Bemidji State University, Moorhead State University, Winona State University)。星粒展。Glamorous展。都美セレクショングループ展「dot.女性日本画展」、日本画制作の現場(福島市立大学)。上野の森美術館大賞展(フジテレビ賞)。創画展(創画会賞・奨励賞・春季展賞)。

SHIMIZU Kohei

## 清水恒平 教授

デザイン総合コース  
造形学部通信教育課程  
副課程長

ここは新しいデザインの可能性を広げる場所。そしてデザインによってあなた自身の可能性も広がるはずです。

1976年生まれ／武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科卒業。  
オフィスナイス株式会社代表取締役。デザイナー。ブログラミングとタイポグラフィを軸に、グラフィックデザイン、インタラクティブデザイン、デバイス制作など幅広く活動している。近年はNPO法人インシュアプラスデザインのソーシャルデザインプロジェクトの多くに参加している。主な仕事に、「認知症世界の歩き方」「人口減少×デザイン」「東スポweb」「無印良品の家 住まいのかたち」「欲しかった暮らしラボ」などのウェブデザインなど。著書:「マルチメディアを考える」(武蔵野美術大学出版局・2016年)ほか。





学びの集大成である卒業制作・研究成果は3月上旬に鷹の台キャンパスにて開催する「通信教育課程卒業制作展」にて一般公開されます。  
また、油絵学科とデザイン情報学科の優秀作品は後日開催される「武蔵野美術大学卒業・修了制作優秀作品展」でも展示されます。

入学・出願に関する  
お問い合わせ

通信教育課程 入学担当

TEL:

042-342-3405

E-mail:

cc-nyugaku@musabi.ac.jp

2026年度  
入学相談会の日程は  
こちらから  
ご確認ください



#### 表紙コンセプト

デザインやアートの考え方を身につけるには、実際に手を使って“ものをつくる”ことが不可欠だと考えています。それは、ムサビ通信が掲げる“つくる力が私を変える”というメッセージにも通じます。めまぐるしく変化する時代において、今までにない何かを掴むため、私たちはつくることを続け、そして未来に対する可能性を広げていけるという思いを込めました。

発行

武蔵野美術大学通信教育課程

発行日

2025年11月21日

印刷

大日本印刷株式会社

表紙デザイン・本文デザイン・編集

松本聖典

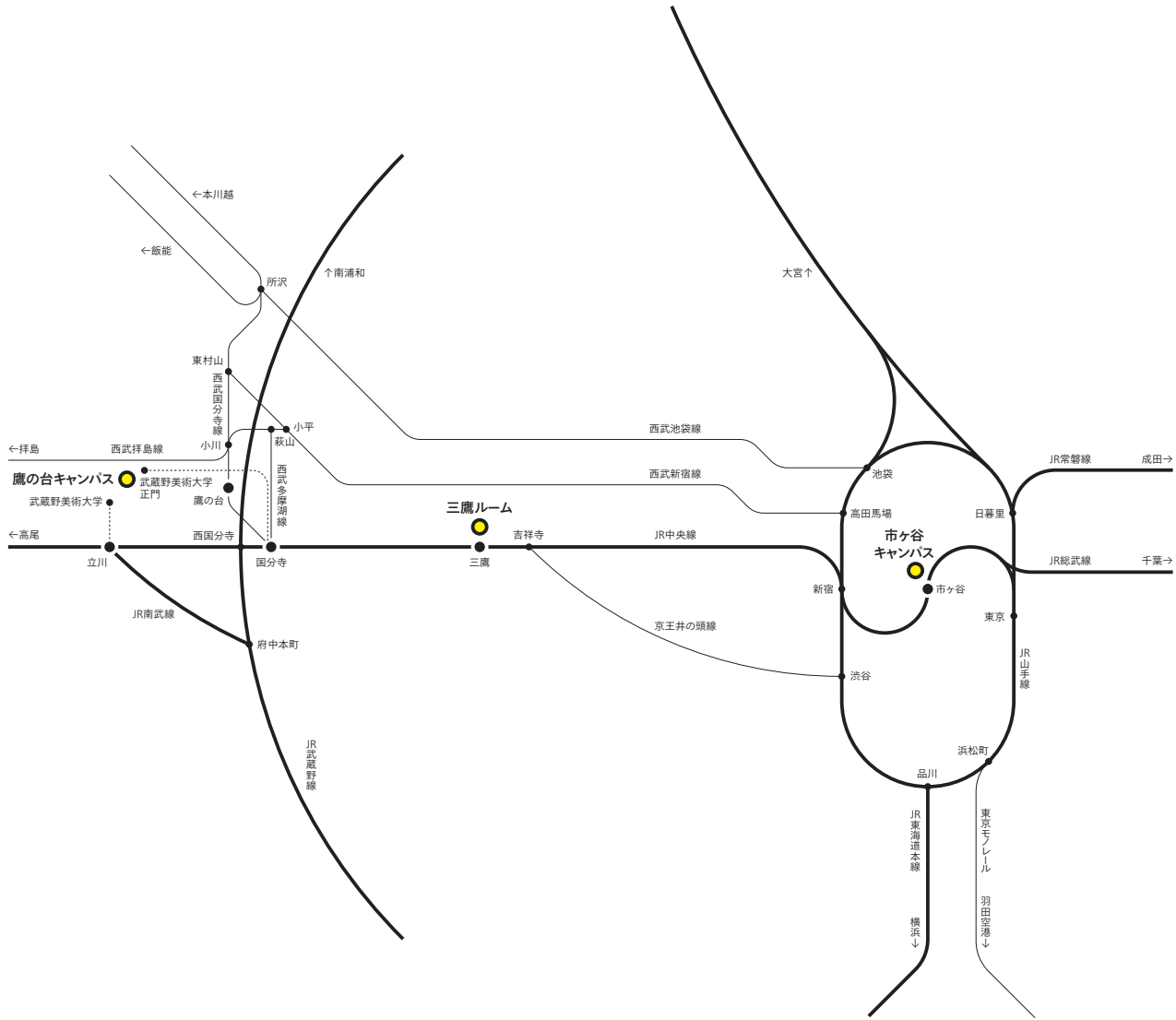
ライティング

恩田栄佑

本文写真

佐藤祐介

交通案内



鷹の台キャンパス

〒187-8505  
東京都小平市小川町1-736

- JR中央線[国分寺]駅乗換、西武国分寺線[東村山]行で[鷹の台]駅下車、徒歩18分
- JR中央線[国分寺]駅北口下車、  
[国分寺駅北口]4番停留所より西武バス[武蔵野美術大学]行  
または[小平営業所]行で[武蔵野美術大学正門]または[武蔵野美術大学]下車(バス所要時間約25分)  
(東京駅より国分寺駅まではJR中央線特別快速で約35分、快速で約43分)
- 西武新宿線[東村山]駅乗換、西武国分寺線[国分寺]行で[鷹の台]駅下車、徒歩18分
- JR中央線[立川]駅北口下車、立川バス[武蔵野美術大学]行で終点下車(バス所要時間約25分)

三鷹ルーム

〒180-0006  
東京都武蔵野市中町1-19-3  
武蔵野YSビル6F

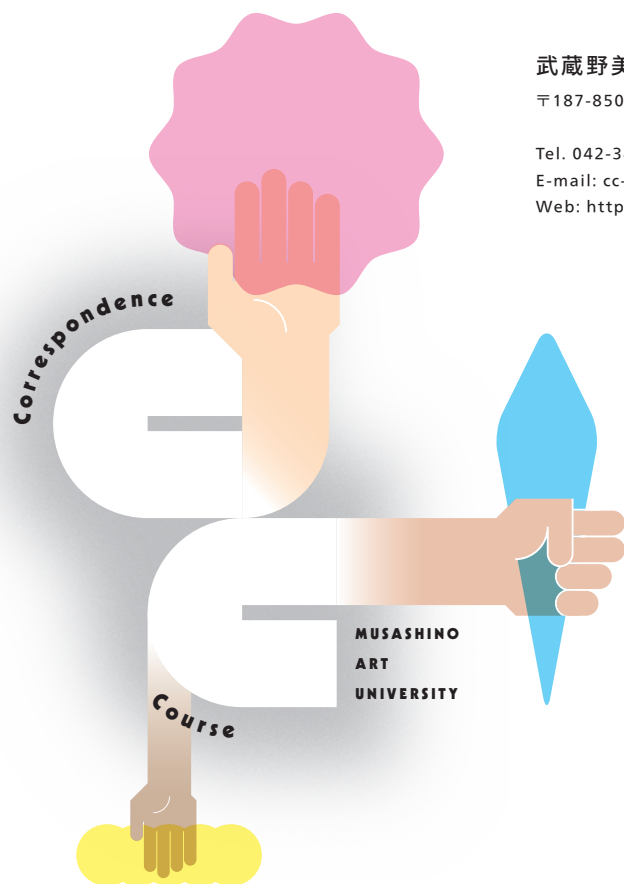
- JR中央線[三鷹]駅北口より徒歩約4分

市ヶ谷キャンパス

〒162-0843  
東京都新宿区市谷田町1-4

- JR中央・総武線[市ヶ谷]駅より徒歩3分
- 東京メトロ有楽町線・南北線[市ヶ谷]駅、都営新宿線[市ヶ谷]駅4番出口より徒歩3分





武蔵野美術大学 通信教育課程

〒187-8505 東京都小平市小川町1-736

Tel. 042-342-3405

E-mail: [cc-nyugaku@musabi.ac.jp](mailto:cc-nyugaku@musabi.ac.jp)

Web: <https://cc.musabi.ac.jp/>

通信  
美術